

診療科のご案内

旭川赤十字病院

Asahikawa Red Cross Hospital

2025年



Contents

ご挨拶

診療科のご紹介

糖尿病・内分泌内科・・・	4	形成外科・・・・・・	26
呼吸器内科・・・・・・	6	心臓血管外科・・・・・・	29
消化器内科・・・・・・	7	泌尿器科・・・・・・	31
循環器内科・・・・・・	9	耳鼻咽喉科・・・・・・	33
腎臓内科・・・・・・	10	小児科・・・・・・	35
血液・腫瘍内科・・・・	12	皮膚科・・・・・・	37
脳神経内科・・・・・・	13	眼 科・・・・・・	38
総合診療科・・・・・・	14	産婦人科・・・・・・	39
外 科・・・・・・	15	歯科口腔外科・・・・	40
呼吸器外科・・・・・・	20	放射線科・・・・・・	42
脳神経外科・・・・・・	22	病理診断科・・・・・・	43
整形外科・・・・・・	24	麻酔科・救急科・・・・	44

旭川赤十字病院ホットラインのご案内・・・・・・	45
診療予約手順について・・・・・・	46
患者（家族）からのTEL予約について・・・・・・	50
医療機器の共同利用について・・・・・・	52
開放病床について・・・・・・	57
たいせつ安心医療ネットのご案内・・・・・・	58
医療支援センターのご案内・・・・・・	59
公式SNSの紹介・・・・・・	61

ご挨拶



旭川赤十字病院 院長 真名瀬 博人

2025年4月1日付けで院長に就任いたしました。2020年4月に副院長就任してからちょうど5年になります。副院長就任当時は世界的に新型コロナウイルス感染（covid-19）が猛威を振るい、日本においても多くの方が感染し亡くなっているという危機的状態でありました。日本赤十字社の『苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る』というミッションを胸に当院職員は診療に当たり、当院連携医療機関の皆様も懸命に診療に当たっていただきました。covid-19による重篤な感染者が徐々に減少し、日本では2023年5月8日からcovid-19はインフルエンザと同様の5類感染症へと移行しましたが当院では今後もcovid-19やインフルエンザ等に感染対策を継続し、新興感染症を念頭に置いた対応策を準備してまいります。

旭川赤十字病院は1915年開設で本年は創立110年目に当たります。1978年に救命救急センターを設置し、以後毎年約5000台程度の救急車受け入れてきました。2009年には道北ドクターヘリの基地病院となり、その守備範囲は離島を含めた道北地域全般に及び日本で最も広い運航圏です。災害救助活動にも精力的に参加しており、昨年の能登半島地震では救護班の派遣を積極的に行いました。脳卒中診療は全国有数の症例数と高い診療実績を維持しています。2020年からは泌尿器科と外科、呼吸器外科でロボット手術を開始し、2022年から胸部X線AI診断も導入し安全で高度な医療を実践しています。2024年には乳腺外来を設置し乳癌診療を充実させ乳房再建も開始しました。2024年12月に外来フロアをリニューアルし消化器内科、循環器内科および総合診療科を移転しました。改修の大きな目的は外来心臓リハビリテーション室の設置ですが、混雑の解消や入院病棟までの導線確保にも役立っています。健診センターでは一般内科健診やがん検診、アンチエイジング検診、脳ドックや認知症検診も実施しています。2024年から新たな認知症治療薬を採用し、多くの患者さんに対応するため神経内科外来を2025年2月に移設拡充しました。

『旭川赤十字病院に紹介したい・受診したいが専門診療科を特定できない』場合に対応するため、2021年に受け入れ窓口として総合診療科を開設しました。救命救急ホットライン・地域連携ホットライン・脳卒中ホットライン・皮膚科ホットラインを設置し緊急性の高い患者の迅速で円滑な受け入れにも努めています。医師会を事業主体に市内5つの公的病院の診療情報が一元管理された『たいせつ安心i医療ネット』を活用し当院連携医療機関の皆様と協力し『地域内1カルテ』を目指しています。

現在、日本においては高齢化や過疎化が急速に進行し人材不足が大きな社会問題になっています。それは医療においても同様で働き方改革とともに重い足かせになっています。当院では先述の胸部X線AI診断を導入するとともにRPA（Robotic Process Automation）を積極的に導入し業務の自動化を推進しています。現在は生成AIによる業務効率化や職員の負担軽減に取り組んでいます。これらIT化の推進は医療安全や医療サービスの品質向上にも多大な効果を生むと期待されています。

旭川赤十字病院は旭川市と共に、道北と共に創立から110年間発展してきました。これからも、地域の医療を、地域の人々を守るため各医療機関と協力して高度で質の高い医療を提供して参ります。そして、道北地区の人々が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献して参ります。

私は浅学非才ではありますが院長業務に全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療科の概要

当科では、主に糖尿病、内分泌疾患、脂質異常症、肥満などを診療しています。現在6名の医師で、外来と病棟を担当しています。病棟では自科の患者さんだけでなく、手術や救急入院を含む他科入院患者さんの血糖管理も数多く担当しています。

治療方針

糖尿病は早期診断、早期治療をすることで、糖尿病関連の合併症を予防できます。さらに今では糖尿病が寛解する人も多く見られます。そのために経口血糖降下薬、インスリン、GLP-1などから一人一人の病気の性質や、生活に合わせて選択・調整しています。

連続血糖モニタリング（CGM）による詳細な血糖日内変動を確認するために、Freestyleリブレ2やDexcomG7など最新のリアルタイムCGMも積極的に導入しています。1型糖尿病患者さんではインスリンポンプによる持続インスリン皮下注射療法（CSII）や、CSIIとCGMを組み合わせたSAP療法も行っています。

糖尿病多職種チーム医療では、糖尿病認定看護師2名、糖尿病に関わる特定行為看護師3名、糖尿病療養指導士が16名と数多くのスタッフが取得しており、糖尿病患者さんの治療サポートや相談を担当しています。食事や運動の方法、インスリン注射方法や自己血糖測定器の扱い方、飲み薬の注意点、フットケアなどを、それぞれの専門的立場から指導に当たっています。

「糖尿病地域連携パス」を推進しており、かかりつけ医療機関と連携して、通常はかかりつけ医で糖尿病の治療を続け、定期的な合併症のチェックや糖尿病治療の見直しなどのために半年から1年に1回当科を受診してもらっています。現在は連携パスで約100名をフォロー中です。

甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患や、脂質異常症や高尿酸血症の精査・治療も行っております。

外科と共に「減量サポート・外科治療センター」を立ち上げており、高度肥満の専門的な精査、治療も行っております。減量手術に向けた術前後の内科的サポートと、新たな肥満治療薬を用いた内科的治療を行うことも可能です。

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	525
外来延数	24,149
新入院数	341

当院で使用可能な最新のリアルタイムCGM



Freestyleリブレ2



DexcomG7



ミニメド770G
(インスリンポンプ+CGM)

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
あびこ あつこ 安孫子 亜津子 副院長 部長 健診センター長	専門分野： 糖尿病、内分泌、総合内科 医学博士 日本内科学会 認定医・総合内科専門医・研修指導医 日本糖尿病学会 専門医・研修指導医・学術評議員・北海道支部副支部長 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修暫定指導医 日本糖尿病・妊娠学会評議員 日本糖尿病協会 糖尿病認定医 旭川地区糖尿病地域連携協議会代表世話人 旭川医科大学 臨床指導教授 NST専任医師 日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医 日本病院会 病院総合医 日本糖尿病対策推進会議 日本糖尿病学会地区担当委員北海道副代表
つじ けん 辻 賢 副部長	専門分野： 糖尿病 日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 専門医 日本糖尿病協会 糖尿病認定医
たきやま ゆうり 滝山 侑里 医師	専門分野： 糖尿病内分泌内科
やまがた ひろき 山縣 弘規 医師	専門分野： 糖尿病 医学博士 日本内科学会 内科専門医
なんぶ たかし 南部 孝 医師	専門分野： 糖尿病・内分泌内科

診療予定表

(初診：9：00～11：00)

	月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌1	安孫子	南部	山縣	出張医	辻
糖尿病・内分泌2	山縣	安孫子	辻	山縣	南部
糖尿病・内分泌3	辻	-	-	安孫子	安孫子

診療部長よりひとこと

糖尿病診断早期の病態評価から、急に血糖が悪化した患者さん、血糖コントロールが難しい患者さん、周術期管理、合併症が進行してきた患者さんなど、幅広くご相談をお受けいたします。ぜひお気軽にご連絡ください。ダブル主治医制で共に患者さんのフォローができればと思っており、逆紹介時には糖尿病地域連携バスでお願いすることがありますので、よろしくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科

呼吸器内科

消化器内科

循環器内科

腎臓内科

血液・腫瘍内科

脳神経内科

総合診療科

外科

呼吸器外科

脳神経外科

整形外科

形成外科

心血管外科

泌尿器科

耳鼻咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔外科

放射線科

病理診断科

麻酔科救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

呼吸器内科は現在4名の医師で診療に当たっており、主に肺がん、間質性肺炎などの呼吸器疾患、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性肺疾患の診療を行っています。日本呼吸器学会関連施設として、呼吸器内科領域において専門性が不可欠な疾患を中心に診療を行っております。

治療内容

- (1) 腫瘍疾患：肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、良性腫瘍など
- (2) 感染性疾患：重症呼吸器感染症（肺炎、胸膜炎、膿胸、肺化膿症）
- (3) びまん性肺疾患：間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど
- (4) 気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎など

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患者数	631
外来延数	7,565
新入院数	715

項目	件数
創傷処理 （筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満）	2
胸腔鏡下膿胸腔掻爬術	3
経皮的膿胸ドレナージ術	3
気管支狭窄拡張術（気管支鏡による）	1
気管・気管支ステント留置術 （硬性鏡によるもの）	1
気管支瘻孔閉鎖術	2
胸腔鏡下肺切除術 （肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	1
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入院用植込型 カテーテル設置（頭頸部その他）	10
中心静脈注射用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他）	2
合計	25

検査件数	件数
気管支内視鏡件数	239
EBUS-TBNA件数	19
胸腔鏡件数	8
合計	266

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
すどう ゆうた 須藤 悠太 部長	専門分野 ：肺癌、COPD、間質性肺炎、 肺高血圧症 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 ICD（インфекションコントロールドクター） 肺がんCT検診認定医師 緩和ケア研修終了 札幌医科大学医学部臨床講師
いけだ けんた 池田 健太 医師	専門分野 ：呼吸器内科
よこやま あきひろ 横山 陽大 医師	専門分野 ：呼吸器内科
はなみつ ゆきこ 花満 由紀子 医師	専門分野 ：呼吸器内科

診療予定表

(初診：8:00～11:00)

	月	火	水	木	金
診察1	須藤	横山	池田	須藤	花満
診察2（新患）	花満	池田	須藤	横山	横山

診療部長よりひとこと

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっています。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。

診療科の概要

当院の消化器内科は現在11名の医師で診療に当たっており、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定指導施設、日本膵臓学会認定指導施設として上下部消化管疾患・肝臓疾患・胆膵疾患など対象は消化器疾患全般に及んでおり、幅広い専門的医療を担当すると共に、朝・夕の病棟回診も欠かさず施行し、円滑な医師・患者関係の確立とわかり易い病状説明に努めています。さらには外科・病理科・放射線科など関連する各科との密接な協力関係のもとで診療にあたっています。

対象疾患

食道の疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、食道裂孔ヘルニアなど
胃の疾患：胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、ヘリコバクター・ピロリ感染症、慢性胃炎、機能性ディスペプシア、胃癌など
大腸・小腸の疾患：大腸癌、腸閉塞、虫垂炎、食中毒、O-157、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、虚血性腸炎、出血性大腸炎、大腸憩室症など
肝臓の疾患：脂肪肝、急性肝炎、B型慢性肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、肝癌、非アルコール性脂肪性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
膵臓の疾患：急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など
胆道系の疾患：胆のう結石症、胆のうポリープ、急性胆のう炎、慢性胆のう炎、胆のう癌、胆管癌、総胆管結石など

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ふじい つね 藤井 常志 院長補佐 部長	専門分野 ：消化器疾患、胆・膵疾患 医学博士 日本内科学会認定医・指導医・評議員 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員 日本超音波学会専門医・指導医 日本消化器がん検診学会認定医・指導医 旭川医科大学臨床指導教授 日本肝臓学会専門医 日本ヘリコバクター学会認定医 日本消化器がん検診学会総合認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本膵臓学会指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医
あべ まさみ 阿部 真美 部長 医療安全 推進室室長	専門分野 ：内科、消化器病、肝臓病 内科学会認定医 消化器病学会専門医 肝臓学会専門医 総合内科専門医 内視鏡学会専門医・指導医

医師名	専門分野/認定・専門等
いしかわ ちさと 石川 千里 部長	専門分野 ：消化器内科 認定内科医 医学博士 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 難病指定医 臨床研修指導医
ももい たまき 桃井 環 副部長	専門分野 ：消化器内科 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本医師会認定産業医
ふじばやし しゅうご 藤林 周吾 副部長	専門分野 ：消化器内科、胆・膵疾患 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 医学博士 難病指定医 臨床研修指導医
はせべ たくむ 長谷部 拓夢 副部長	専門分野 ：消化器内科、肝臓内科、漢方医学 総合内科専門医 認定内科医 肝臓専門医 肝臓指導医 消化器病専門医 消化器病指導医 消化器内視鏡専門医 消化器内視鏡指導医 漢方専門医 医学博士
なかむら あきひさ 中村 晃久 副部長	専門分野 ：消化器内科、肝臓内科 医学博士（北海道大学） 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 緩和ケア研修会修了
さいとう あつし 齋藤 敦 医師	専門分野 ：消化器内科 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖 尿 病・
内 分 泌 内 科

呼 吸 器
内 科

消 化 器
内 科

循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科

脳 神 經
内 科

総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科

脳 神 經
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科

麻 酔 科
救 急 科

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
くろだ しょうへい 黒田 祥平 医 師	専門分野： 消化器内科
ごとう まさき 後藤 聖樹 医 師	専門分野： 消化器 内科専門医 緩和ケア研修修了
かみひら かな 上平 佳奈 医 師	専門分野： 消化器内科
はせべ ちとみ 長谷部 千登美 参 与 院長補佐	専門分野： 肝臓内科、消化器内科 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本肝臓学会東部会評議員 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員 日本高齢消化器病学会理事 日本プライマリケア学会認定医・指導医

項目	件数
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	3
内視鏡的胃静脈瘤組織接着剤注入術	2
内視鏡的食道粘膜切除術 （早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	2
内視鏡的十二指腸ポリープ・粘膜切除術 （早期悪性腫瘍粘膜切除術）	2
超音波内視鏡下瘻孔形成術（腹腔内膿瘍に対するもの）	1
その他	
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	109
下部消化管ステント留置術	19
経皮的胆管ドレナージ術	16
創傷処理	12
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	5
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	5
血管塞栓術（腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	4
食道ステント留置術	4
直腸異物除去術（経肛門（内視鏡によるもの））	2
皮膚切開（長径10cm未満）	2
胆嚢外瘻造設術	2
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	1
血管塞栓術（腹腔内血管等）（止血術）	1
合計	2304

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,581
外来延数	21,368
新入院数	2481

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
内視鏡的治療	
内視鏡的大腸粘膜切除術	527
内視鏡的胆道ステント留置術	306
内視鏡的乳頭切開術（EST）	295
内視鏡的胆道結石除去術	289
内視鏡的消化管止血術	192
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	175
内視鏡的大腸ポリープ切除術	52
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術	52
内視鏡的膵管ステント留置術	45
小腸結腸内視鏡的止血術	42
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	32
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	27
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	25
食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡によるもの、一連として）	18
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	15
小腸狭窄部拡張術（内視鏡による）	13
膵結石手術（経十二指腸乳頭による）	7

診療予定表

（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
新 患	藤 井	石 川	藤 井	齋 藤	桃 井
肝臓外来	阿 部	長谷部 （千）	阿 部	長谷部 （千）	長谷部 （拓）
再診1	藤 林	齋 藤	桃 井	藤 井	石 川
再診2	中村	後藤	上平	黒 田	藤 井

診療部長よりひとこと

断らない診療理念の基に消化器救急疾患に迅速に対応致します。
お気軽にご相談ください。

診療科の概要

当科は、メタボリックシンドロームに代表される慢性疾患から、急性心不全・急性冠症候群・致死性不整脈などの緊急を要する疾患群を主な守備範囲としています。メタボリックシンドロームなどは動脈硬化を惹起し、冠動脈硬化から急性心筋梗塞などの急性冠症候群を引き起こすとされています。

心臓自体を栄養する血管(冠動脈)は、糖尿病や高血圧症、高コレステロール血症などが原因で、血管壁にプラークが沈着・堆積することで動脈硬化を引き起こし、さらには石のように固くなる石灰化病変となり、狭小化し閉塞していきます。今までは、カテーテル治療において、病変部を風船で膨らませステントを留置する方法しかありませんでしたが、このように石のように固くなった石灰化病変は、柔らかい風船で拡張しようとしても十分に広げることが出来ず、ステントを留置してもきれいな仕上がりを得られないことがあります。

そこで当院では、治療困難な石灰化のある動脈硬化病変に対し、有効な治療法の手段として、ロータブレーターというラグビーボールのような形状のドリルの先端に、ダイヤモンドの粒子が塗布してあるこのドリルが高速回転することで、石のように固くなった石灰化病変を切削し、血管を広げ治療を行っております。

まだ導入間もないですが、今後症例数を増やし、患者さんへの恩恵を提供できればと考えております。

医師名	専門分野/認定・専門等
とだ ゆうき 戸田 悠貴 医 師	専門分野：循環器一般 医学博士 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本不整脈心電学会 ICD/CRT研修修了
かまだ あゆ 鎌田 綾花 医 師	専門分野：循環器内科
いとう ゆうき 伊藤 侑記 医 師	専門分野：循環器内科

診療予定表

(初診：8:00~11:00)

	月	火	水	木	金
診察1	岸 上	岸 上	伊藤	印 鑰	印 鑰
診察2	伊藤	飛 澤	飛 澤	飛 澤	鎌田
診察3	戸田		鎌田	戸田	
新 患	戸田	岸 上	伊藤	印 鑰	鎌田

*第2・4金曜日午後：ペースメーカー外来

診療部長よりひとこと

この度、令和4年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました。循環器内科の飛澤 利之と申します。私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。

昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。

このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテル介入・心臓リハビリテーション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れております。

このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりませんが、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実させていく予定です。また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。

まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、新しく生まれ変わった新生循環器内科として、これまで以上に皆様に信頼されるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
とびさわ としゆき 飛澤 利之 部 長	専門分野：虚血性心疾患、心不全 医学博士 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会心血管カテーテル治療専門医 日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士 日本不整脈心電学会 ICD/CRT研修修了 旭川医科大学臨床指導准教授 札幌医科大学医学部臨床講師
いぶく まさふみ 印鑰 雅史 医 師	専門分野：循環器内科
きしうえ なおひろ 岸上 直広 医 師	専門分野：循環器内科 日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本循環器学会専門医 難病指定医

糖 尿 病 ・
内 分 泌 内 科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に取り組み、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。

また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しても、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行います。

また慢性腎炎の中でもっとも多いIgA腎症では、腎生検の結果をふまえ「扁桃腺摘出術とステロイド療法」を施行し、血尿・蛋白尿の減少や消失というような良好な治療成績をおさめています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせることで腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。

透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っています。

現在月水金、火木土いずれも午前(9:00～14:00)、午後(14:00～19:00)の2クールで行っております。

また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こばやし ひろのり 小林 広学 院長補佐 部長	専門分野： 透析患者に対する循環器合併症管理・治療、バスキュラーアクセス（シャント）不全に対するバルーン治療、心不全・電解質・貧血管理、腹膜透析管理、腹膜透析力テータルに対する管理・治療 医学博士 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、指導医 日本透析医学会専門医、指導医 日本循環器学会専門医 日本腹膜透析医学会認定医、評議員 日本腎・血液浄化AI学会評議員 日本透析医学会VA血管内治療認定医 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医 透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT認定専門医 腎代替療法専門指導士 日本医師会認定産業医 NPO法人日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会 北海道ブロック地区幹事 旭川医科大学臨床指導教授 札幌医科大学臨床指導教授
あたち あきら 安達 昭 医師	専門分野： 腎臓内科 外科専門医 医学博士
おさなみ あらた 長南 新太 医師	専門分野： 慢性腎臓病治療、糸球体腎炎の診断と治療、腎病理診断、心不全、電解質、貧血管理、腎代替療法、バスキュラーアクセス不全に対する治療 医学博士 日本内科学会認定医 腎臓専門医・指導医 透析専門医 循環器専門医 腎代替療法専門指導士 日本腎病理協会腎病理診断研修フェローシップ修了

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
やまだ かずき 山田 一紀 医 師	専門分野： 腎臓内科、血液透析、腹膜透析 内科専門医 日本医師会認定産業医 ICLSインストラクター JMECCインストラクター 透析専門医 腎臓リハビリテーション指導士 日本腎臓学会腎臓専門医
たけだ さき 武田 紗季 医 師	専門分野： 腎臓内科

腎臓内科 診療時間

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
長南	小林	山田	小林	武田

透析室

	月	火	水	木	金
午前：PD外来			小林	宮森/山田	
午後：PD外来				小林	
午後：HD外来	小林	小林		小林/宮森	

診療部長よりひとこと

広い道北地域においても腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様に提供できますよう、頑張っていきたいと思います。

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	315
外来延数	5,823
新入院数	631

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	186
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）	76
連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	17
CAPD出口部変更術	10
CAPDカテーテル抜去	7
内シャント血栓除去術	4
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	3
血管縫合術（簡単）	2
小児創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）	1
血管結紮術（その他）	1
合計	307

糖 尿 病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

当科の診療内容は造血器腫瘍を主とした各種血液疾患の診療です。白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患や、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、溶血性貧血と言った難病指定疾患を含む幅広い疾患の治療に取り組んでいます。

血液の領域では道内でも数少ない骨髄バンク・臍帯血バンク認定施設として、年間約10～20例の造血幹細胞移植を実施しており、全国でもトップレベルの良好な成績をおさめています。また、日々めざましく進歩する分子標的治療、免疫療法、分化誘導療法など各分野の最新の治療を幅広く取り入れ、常に最先端の医療を提供できるよう日々努力しています。

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	316
外来延数	5,634
新入院数	640

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こぬま ゆういち 小沼 祐一 部長	専門分野： 血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本内科学会認定内科医 札幌医科大学臨床教授
さかい としろう 酒井 俊郎 部長	専門分野： 血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本内科学会認定内科医
ゆきたか きょうこ 幸高 響子 医師	専門分野： 血液疾患一般
たなか りょうじ 田中 亮次 医師	専門分野： 血液疾患一般

外来担当医

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
小沼	幸高	休診	酒井	田中

対象疾患

1. 脳の病気

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット病、ハンチントン舞蹈病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦など）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺、正常圧水頭症、脳脊髄液減少症

2. 脊髄の病気

（視神経）脊髄炎、頸部脊髄症、頸部脊椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症、脊髄空洞症、脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、スモン、家族性痙性対麻痺、HAM、亜急性連合性脊髄変性症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

3. 末梢神経の病気

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性末梢神経障害、顔面神経麻痺、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トゥース病、アミロイドーシス

4. 筋肉の病気

筋ジストロフィー、皮膚筋炎、多発筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリアミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、筋強直症候群、周期性四肢麻痺

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
うら しげひさ 浦 茂久 院長補佐 部長	専門分野：神経疾患全般 日本神経学会専門医・指導医（代議員） 日本内科学会総合内科専門医 プライマリ・ケア認定医 日本神経治療学会（評議員） 北海道大学医学部医学科臨床指導教授 日本認知症学会専門医 日本神経感染症学会評議員
わきた まさひろ 脇田 雅大 医師	専門分野：脳神経内科 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医 日本神経学会神経内科専門医 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医
いのうえ たかし 井上 貴司 医師	専門分野：脳神経内科全般
さいか しょう 雑賀 将 医師	専門分野：神経内科

診療予定表

初診 8:00～12:00

	月	火	水	木	金
初診	浦	脇田	雑賀	脇田	井上
再診	井上	浦（奇数週）	浦（物忘れ外来）	浦 雑賀	脇田

診療実績（2024年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,208
外来延数	10,982
新入院数	611

診療部長よりひとこと

旭川を含めた道北地方はもとより、空知地方やオホーツク地方も一部含めた脳神経内科拠点病院として24時間体制で患者を受け入れており、神経学会専門医を含めたおよそ4名体制で診療を行っております。

パーキンソン病を含めた神経難病に対しては全ての薬物治療が可能でありデバイス療法としてL-Dバ持続経腸療法・皮下注射療法や北大と連携し手術療法も可能であります。神経難病や筋ジストロフィーなどの疾患に対しては短期集中リハビリ療法も行っております。また、神経難病のみならず頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などのcommon diseaseにも全て対応可能で、認知症に関しては週1回の認知症専門医による完全予約制の物忘れ外来も行っております。また、抗アミロイドβ抗体薬も投与可能な施設となっております。自己免疫疾患に関しては血漿交換療法や大量γグロブリン療法も可能で、緊急対応も可能です。神経内科領域の治療は日進月歩で進化しており極力新規医薬品や治療法も導入に動いております。ポトックス治療も行なっています。近年、開発が盛んな核酸医薬や生物学的製剤、分子標的薬なども随時導入し、使用可能です。

地域の神経内科医、他科の医師や訪問看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフとも連携し定期的にかンファレンスや研究会、勉強会も開催しており交流を深めるように動いております。当院のみで対応困難と判断した場合や患者さんの希望がございましたら北大や札幌市内の病院ともセカンドオピニオンなどの連携も行なっております。

何か疑問点やご不明点などございましたら電話対応も可能ですので気軽にお問い合わせ下さい。

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

2024年度より、総合診療科の体制が新しくなりました。

月・木曜日は糖尿病・内分泌内科医師、火曜日は健診センター医師、金曜日は腎臓内科医師の内科系3科で主に診療を行っています。専門診療科がはっきりしない症例に対し、幅広い内科的知識を基本として、初期対応、鑑別診断を行うことを目的に診療を行っており、入院が必要な場合にも対応が可能となりました。

基本的には地域連携室を通して事前予約をしていただいておりますが、紹介状がございましたら、予約がなくても診察は可能です。お急ぎの症例、予約日が決まらない症例などは、予約なしで午前中に受付をしていただければと思います。

診療予定表

初診（8:00～13:00） 診察は9時から開始

月	火	水	木	金
担当医	担当医	休 診	担当医	担当医

主な診療内容

- ・専門診療科がわからない症状や疾患
- ・流行時の感染症対応（コロナ、インフルエンザなど）
- ・各種ワクチン（木曜午後・金曜午後 予約制）

診療科の概要

当科は常勤医師9人で、消化器疾患、乳腺疾患から一般外科領域全般に至るまでの外科治療を広く行っています。各関連学会指導医・専門医が複数名在籍しており、診療の質・手術の質の向上に努めています。低侵襲なロボット支援手術、腹腔鏡下手術を積極的に導入しております。救命救急センターで緊急手術を必要と診断された方に対する緊急手術についても365日24時間体制で対応しています。

おもな対象疾患

《胃 癌》

2024年の胃癌切除症例は約40例でした。これまで多くの胃癌症例に対し低侵襲な腹腔鏡下手術を行っていましたが、最近では約8割以上の症例に対し最新鋭機であるダヴィンチXi (da Vinci Xi surgical system) によるロボット支援下手術を行っています。また、可能な限り胃全摘は回避し、根治性は担保しつつ、機能温存を目的とした幽門側胃切除や噴門側胃切除を積極的に行っています。

《大腸癌》

2024年の大腸癌切除症例は約120例でした。現在、約8割以上の大腸癌症例に対し、ダヴィンチXi (da Vinci Xi surgical system) によるロボット支援下手術を行い、それ以外でも腹腔鏡手術を多く行っています。直腸癌に対しては可能な限り肛門を温存する手術を採用し、最新術式であるtaTME (Transanal total mesorectal exision : 経肛門的直腸間膜切除術) も導入、根治性、肛門温存率の向上を心がけています。

《食道癌》

胸腔鏡・腹腔鏡下に手術を行います。胸部と腹部の両方の操作が必要な負担の大きい手術ですが、胸腔鏡・腹腔鏡下に行うことで痛みが少なく、呼吸機能が温存され、早期の社会復帰が可能です。

《肝胆脾疾患》

胆石から高難度の脾頭十二指腸切除まで幅広く対応しています。

《乳 癌》

化学療法から手術まで一貫して治療を行います。乳房温存手術を積極的に行っています。乳房全摘後の乳房再建（一次再建、同時再建/二次再建）も当院形成外科で行っています。

《減量手術》

腹腔鏡下手術を行います。糖尿病や高脂血症、高血圧、睡眠時無呼吸症候群等の肥満関連疾患が改善します。減量サポート・外科治療センターを開設し、多職種が関わり、治療成績の向上を目指しています。

《鼠経ヘルニア》

多くの症例に対し腹腔鏡下手術で行っています。痛みが少なく、早期退院が可能です。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
まなせ ひろと 真名瀬 博人 院 長	専門分野 ：消化器外科、一般外科、乳腺外科 精中委マンモグラフィ読影医 日本外科学会専門医 医学博士 日本消化器外科学会認定医 旭川医科大学臨床教授 産業医科大学産業医 病院総合医 乳腺認定医 北海道大学客員准教授 総合診療専門研修特任指導医 消化器がん外科治療認定医
いちむら たつすけ 市村 龍之助 院長補佐 部 長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、 一般外科 特に胃、大腸癌手術、 内視鏡手術、大腸癌化学療法、 肛門痔疾患の診察・治療 医学博士 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 インфекションコントロールドクター (ICD) (日本外科感染症学会) 日本DMAT 北海道DMAT 精中委マンモグラフィ読影医 Certificate of da Vinci System Training As Console Surgeon 旭川医科大学臨床指導教授 北海道大学医学部医学科臨床指導教授 内痔核に対する四段階注射講習会受講

糖 尿 病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

医師紹介

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

医師名	専門分野/認定・専門等
しょうじ やすひと 東海林 安人 副部長	専門分野： 消化器外科、内視鏡外科、 救急・外傷外科、乳腺外科 医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本乳癌学会乳腺専門医 乳がん検診超音波検査実施・判定医師 日本乳房オンコプラスチックサージャリー 学会乳房再建責任医師 日本Acute Care Surgery学会認定外科医 日本腹部救急医学会教育医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本救急医学会認定 インфекションコントロールドクター（ICD） 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本DMAT登録隊員 JATECインストラクター ATOMインストラクター Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
やまもと かずゆき 山本 和幸 副部長 減量サポート・ 外科治療センター 副センター長	専門分野： 胃外科、大腸外科、内視鏡外科、 肥満手術、ロボット手術 医学博士 日本外科学会 外科専門医・指導医 がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会評議員 消化器・一般外科（胃）技術認定医 ロボット支援手術認定ブロッカー （手術指導医）（結腸）（直腸） Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon

医師名	専門分野/認定・専門等
くわばら しょうた 栞原 尚太 副部長	専門分野： 消化器外科 医学博士（北海道大学） 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本肝胆脾外科学会評議員 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本臨床栄養代謝学会認定医 緩和ケア研修会修了 T N T 研修会修了 臨床研修指導医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
よしだ なな 吉田 奈七 医師	専門分野： 乳腺外科 医学博士 外科専門医 乳腺認定医 マンモグラフィ読影認定医
あおき ゆうま 青木 佑磨 医師	専門分野： 消化器外科 外科専門医 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon 腹部救急認定医 消化器がん外科治療認定医 消化器外科専門医 JATECコース修了 緩和ケア研修会修了

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
とうじま ひろやす 東嶋 宏泰 医 師	専門分野：一般外科、救急、Acute Care Surgery 外科専門医 緩和ケア研修会修了 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant 日本腹部救急医学会腹部救急認定医
いしづか ゆうた 石塚 雄大 医 師	専門分野：消化器外科

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

	月	火	水	木	金
一般外来	青木	東海林	市村	東嶋	担当医
	栞原	山本	石塚	-	-
	担当医	担当医	-	-	-
乳腺外来	吉田	吉田	休診	吉田	吉田
	-	東海林	-	-	-

山本：減量サポート外科治療センター 内視鏡外科外来
14時～16時 予約制

市村：肛門外来

* 外来患者で手術目的の方は12:00以降の診察になります。
* 専門外来（減量サポート・外科治療センター・内視鏡外科）
来は毎週火曜日14:00～16:00予約が必要です。

診療実績 (2024年1月～12月)

項目	患者数
外来新患数	507
外来延数	6,502
新入院数	867

主な手術実績 (2024年1～12月)

項目	件数
胃・食道の手術	
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍・単純）	23
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	9
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	6
腹腔鏡下胃腸吻合術	5
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術） （手術用支援機器）	4
腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	4
腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	4
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	4
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	2
胃切開術	1
胃切除術（単純）	1
十二指腸窓（内方）憩室摘出術	1
胃縫合術	1
大腸・小腸の手術	
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	55
腹腔鏡下直腸切除・切断術	37
腹腔鏡下虫垂切除術	37
人工肛門造設術	30
腹腔鏡下人工肛門造設術	25
結腸切除術（悪性腫瘍手術他）	25
腸管癒着症手術	13
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（その他のもの）	13
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	11
小腸切除術	10
腹腔鏡下小腸切除術（その他のもの）	9
肛門周囲膿瘍切開術	5
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	5
直腸切除・切断術	4
腸閉鎖症手術（腸管切除を伴わない）	4
痔瘻根治手術（単純・複雑）	4
腸閉塞症手術（小腸切除）（複雑なもの）	3
腸瘻造設術	2
腸吻合術	2
肛門良性腫瘍切除術	1
肛門形成手術（肛門狭窄形成手術）	1
腹腔鏡下直腸脱手術	1
低侵襲経肛門的局所切除術（M I T A S）	1
直腸脱手術（腹会陰）	1
腸切開術	1
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	1
結腸瘻閉鎖術（腸管切除を伴う）	1
結腸ポリープ切除術（開腹による）	1

糖 尿 病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
肝臓・胆道・膵臓の手術	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	89
肝切除術（2区域切除・部分切除）	9
膵頭部腫瘍切除術（膵頭十二指腸切除術他）	8
膵体尾部腫瘍切除術	7
総胆管胃（腸）吻合術	4
胆管悪性腫瘍手術	3
胆嚢摘出術	2
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	2
膵管空腸吻合術	2
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	1
肝嚢胞切開術	1
脾摘出術	1
破裂腸管縫合術	1
その他消化管の手術	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	53
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型 カテーテル設置（頭頸部その他）	37
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア・大腿ヘルニア他）	25
急性汎発性腹膜炎手術	24
腹腔鏡下試験開腹術	16
腹腔鏡下ヘルニア手術 （大腿ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア）	8
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	8
腹腔鏡下試験切除術	7
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	5
試験開腹術	4
大網腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	2
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	2
胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）	1
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（骨盤）	1
腹壁膿瘍切開術	1
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	1
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用 支援機器を用いるもの）	1
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	1
尿管剥離術	1
包茎手術（背面切開術）	1
腔壁腫瘍摘出術	1
乳腺の手術	
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（マンモグラフィー 又は超音波装置によるもの）	68
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）	25
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）	16
乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）	5
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	5

項目	件数
その他の手術	
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの）	21
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）	7
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	3
皮膚切開（長径10cm未満）	1
デブリードマン（100cm以上3000cm未満）	1
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術 （25cm～100cm未満）	1
遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの） （乳房再建術の場合）	1
骨折非観血的整復術（鎖骨）	1
合計	854

診療部長よりひとこと

当院はドクターヘリ運用施設、三次救急医療機関です。そのような施設の外科として、まず救急医療、緊急手術に対応すべく、医師一同、日々業務に励んでおります。

さらに悪性疾患、一般外科疾患に対する手術などについても、高度医療を積極的に導入し、大腸癌に対するロボット支援下手術なども積極的に行っております。減量手術(道北で唯一の実施施設となります)の実施件数も、多くの医療機関からご紹介いただき、順調に増えております。

院内では多種多様な医療スタッフと協力し、チーム医療で、治療中の患者さんご家族の不安を少しでも軽減できるように対応を心がけております。

各医療機関からのご紹介を通じて、地域の皆様が安心して暮らせるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、いつでもご相談・ご紹介ください。



外科スタッフ



減量サポート・外科治療センター



膵頭十二指腸切除術

手術の様子



減量手術



ロボット支援下結腸癌手術

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

呼吸器外科の受け持ち範囲は肺癌、気胸などの肺疾患の他、縦郭、胸膜、胸壁、横隔膜、胸管、胸部神経など、胸部にある心臓と食道以外の外科的疾患全てです。常に呼吸器内科と連携をとって治療方針を決定し、検査から手術、抗癌剤など術後の治療へと円滑な治療が可能となっています。手術は低侵襲な（体への負担が少ない）胸腔鏡手術を中心にっており、手術全体の9割が胸腔鏡で可能です。2022年3月からは最新の手術ロボットである、「ダヴィンチXiサージカルシステム」を用いた「ロボット支援下胸腔鏡手術」を開始し、更に精密で侵襲（体の負担が少ない）手術が行えるようになりました。また、生検といって病気の診断のため肺や胸腔内の組織をとる必要がある場合があり、そのような検査のための胸腔鏡手術（審査胸腔鏡）も積極的に行っています。一方で進行癌に対する根治手術は開胸して気管支、血管、胸壁などを合併切除する必要があるため、大学や心臓血管外科とも協力して行っています。当院は救命救急センターを有する救急指定病院であり、交通事故などで多発外傷を負った患者さんも多く運ばれてきます。呼吸器外科ではこのような患者さんの治療も、外科、救急科を始めとした各診療科を始めとした各診療科と協力しながら行っています。

主な対象疾患

肺癌、肺腫瘍 気胸、血胸 膿胸、肺膿腫 肋骨・胸骨骨折、肺挫傷など胸部外傷
縦郭腫瘍 胸腺腫・重症筋無力症 胸膜、胸壁、横隔膜疾患 胸管、神経疾患

診療予定表

(午前 8:00~11:30 午後~15:30)

月	火	水	木	金
休診	休診	休診	福永	福永・齋藤

診療部長よりひとこと

2019年4月より赴任し、年100件程度の呼吸器外科手術を行ってまいりました。このうちの約半数は肺癌です。肺癌は癌の中でも進行が早く悪性度が高いとされていますが、一方で早期発見し手術を含めた根治治療ができると、高い確率で治療が見込める事も知られています。最近肺抹消の小結節で、気管支鏡等による確定診断が困難な肺癌疑い病変に対し、診断的治療として胸腔鏡下術を行う例が増えています。術前の画像で肺癌と判断したうちの9割以上が早期肺癌です。当院では侵襲の少ない胸腔鏡手術、肺切除量の少ない区域切除を積極的に行い良好な成績を得ていますが、2022年3月よりロボット支援下肺悪性手術ができるようになり、更に精密で侵襲の少ない手術が可能となっています。小さな病変でも肺癌の可能性がございますので、ちょっとした異常陰影であってもいつでもご紹介ください。

また、従来外科と協力して診療を行ってまいりましたが、2022年4月より呼吸器外科専任医が増員となり、更に診療体制が充実しました。気胸、膿胸、胸部外傷といった救急疾患・外傷も24時間体制で受け入れておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ふくなが あきら 福永 亮朗 副院長 部長	専門分野： 呼吸器外科、消化器外科、 乳腺外科、一般外科 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医、指導医 精中委マンモグラフィ読影医 医学博士 消化器がん外科治療認定医 胸腔鏡安全技術認定医 Certificate of da Vinci system training as a console surgeon 日本内視鏡外科学会技術認定医（呼吸器外科） 乳腺認定医 Robo-Doc Pilot Japanese ClassB 日本呼吸器外科学会 ロボット支援手術ブ ロクター
さいとう たける 齋藤 武尊 医師	専門分野： 呼吸器外科、消化器外科

診療実績

項目	患者数
外来新患数	139
外来延数	874
新入院数	155

主な手術実績

2024年（1～12月）

項目	件数
創傷処理	5
皮膚腫瘍摘出術	1
皮下腫瘍摘出術	1
関節脱臼非観血的整復術	1
肋骨骨折観血の手術	1
胸壁悪性腫瘍摘出術	1
試験開胸術	1
胸腔鏡下試験開胸術	1
胸腔鏡下試験切除術	1
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	1
胸腔鏡下胸腔内（胸膜内）血腫除去術	1
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	12
膿胸腔有茎大網充填術	1
縦隔腫瘍摘出術	1
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2
肺切除術	2
胸腔鏡下肺切除術	23
胸腔鏡下肺縫縮術	5
肺悪性腫瘍手術	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	60
胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術	4
胸腔鏡下心膜開窓術	1
経皮的心肺補助法	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用 植込型カテーテル設置	1
合計	131

上記項目の内、ダヴィンチを使用した件数	件数
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2
胸腔鏡下肺切除術	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	25
合計	29



ダヴィンチXiサージカルシステム

外科・呼吸器外科スタッフ
前列左から三人目福永医師

VATSの手術風景：5mmの細かいカメラを胸腔内に入れ、大きく映したモニターをみながら手術を行います。

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

脳神経外科は脳、神経及び関連する血管などの付属機関を含めた神経疾患の中で主に外科治療の対象となりうるものを扱う診療科です。当院では特に脳血管障害、脳腫瘍、脳神経障害（顔面けいれん、三叉神経）を中心に診療しています。

1）24時間365日の救急医療

当院は救命救急センターおよびドクターヘリ基地を有し、24時間365日救急対応を行っています。脳神経外科医も常時院内に待機しています。320列高速CT、1.5テスラMRI、3D-DSA、脳血流SPECTなどの画像診断装置も24時間稼働しており、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、頭部外傷など一刻一秒を争う病態にも迅速に対応しています。また、脳卒中ホットラインや、電子カルテ情報共有のinet、画像参照システムのJoinを活用し、旭川市内病院やクリニック及び、富良野協会病院、留萌市立病院といった周辺地域の基幹病院とも高度な連携を行っており、ご紹介いただいた脳疾患患者さんの診断、治療を当院で行った後、地域の病院でのリハビリテーション及びフォローアップといったシームレスな医療を提供しています。

2）高度な専門治療

当院では開頭手術、脳血管内手術ともに高い技術を有しており、脳動脈瘤に対するクリッピング、コイル塞栓術、脳動脈閉塞に対する脳血管バイパス術、血栓回収療法、内頸動脈狭窄に対する内頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術、顔面けいれん、三叉神経痛に対する神経血管減圧術のほか、大型脳動脈瘤に対するバイパス併用クリッピングやフローダイバーターの留置といった高度の治療も可能です。また難易度の高い頭蓋底腫瘍に対する治療も積極的に行っています。

3）主な対象疾患

脳動脈瘤 脳梗塞 脳腫瘍
顔面けいれん、三叉神経痛

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たきざわ かすみ 瀧澤 克己	専門分野： 脳血管障害手術（脳動脈瘤手術・
副院長	バイパス手術・内膜剥離術）、
部長	頭蓋底腫瘍、医療安全
	日本脳神経外科学会専門医
	日本脳卒中学会認定医・指導医・評議員
	旭川医科大学臨床指導教授
	藤田医科大学ばんだね病院 客員教授
	日本脳神経外科救急学会評議員
	日本意識障害学会評議員
	病院総合医

医師名	専門分野/認定・専門等
わだ はじめ 和田 始	専門分野： 脳卒中、脳血管内治療
部長	日本脳神経外科学会指導医・専門医 日本脳卒中学会指導医・専門医 日本脳血管内治療学会指導医・専門医 博士（医学）乙第456号
さくらい じゅろう 櫻井 寿郎	専門分野： 脳外科一般、脳血管内治療
部長	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医
たけぼやし せいじ 竹林 誠治	専門分野： 脳神経外科一般、脳卒中外科
部長	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 医学博士
こばやし とおる 小林 徹	専門分野： 脳神経外科、脳卒中外科
部長	日本脳神経外科学会認定専門医 日本脳卒中学会認定指導医 医学博士 日本脳卒中の外科学会認定指導医
こばやし りな 小林 理奈	専門分野： 脳神経外科、脳卒中
医師	医学博士 日本脳神経外科専門医
すずき りょうすけ 鈴木 良介	専門分野： 脳血管障害手術（脳動脈瘤手術・バイパス手術 内膜剥離術）、脳血管内治療・良性脳腫瘍 （髄膜腫・聴神経鞘瘤）神経内視鏡手術、脳卒中診療
医師	日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本脳卒中学会専門医・指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医
やまぐち なつき 山口 なつき	専門分野： 脳神経外科
医師	脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会 てんかん学会 てんかん外科学会 北海道救急医学会
つちや りょうすけ 土屋 亮輔	専門分野： 脳神経外科一般、頭部外傷
医師	医学博士 日本脳卒中学会認定専門医 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本脳神経外傷学会専門医
ひらばやし たくみ 平林 拓海	専門分野： 脳血管障害
医師	日本脳神経外科学会専門医・指導医 脳血栓回収療法実施医
おくやま ともひろ 奥山 友浩	専門分野： 脳神経外科
医師	日本脳神経外科学会専門医
まきの けんいち 牧野 憲一	専門分野： 脳循環代謝、脳核医学、脳卒中治療、医療マネジメント
特別顧問 名誉院長	脳卒中治療、医療マネジメント 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 医学博士 日本医師会認定産業医 病院総合医 総合診療専門研修特任指導医

診療予定表

(初診：8：00～12：00)

	月	火	水	木	金
第一診察室	平 林	小林 (理)	櫻 井 (血管内治療外来)	竹 林	小林 (徹)
第二診察室	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来
第三診察室			鈴 木	土 屋	和 田 (血管内治療外来)
第四診察室	瀧 澤	瀧 澤			

診療実績 (2024年1月～12月)

項目	患者数
外来新患数	1,135
外来延数	12,886
新入院数	1,169

主な手術実績

手術	2024年	2023年	2022年
脳動脈瘤クリッピング術 (破裂)	46	52	47
脳動脈瘤クリッピング術 (未破裂)	45	46	53
頭蓋内血腫除去術	27	13	21
脳血管バイパス術 (モヤモヤ病含む)	19	10	17
内頸動脈内膜剥離術	9	21	8
脳動静脈奇形摘出術	3	5	4
頭蓋内腫瘍摘出術	32	29	40
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	0	0	1
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	5	3	2
脳神経手術 (顔面けいれん・三叉神経痛)	18	11	4
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	71	96	89
水頭症手術 (シャント手術)	29	50	43
急性硬膜下血腫・外血腫	7	9	15
その他(手術)	58	34	35
血管内手術	2024年	2023年	2022年
脳動脈瘤塞栓術 (破裂)	8	9	8
脳動脈瘤塞栓術 (未破裂)	24	23	15
(フローダイバーター留置術)	12	3	5
頸動脈ステント留置術	17	14	11
脳動静脈奇形塞栓術	1	8	5
シャント疾患塞栓術	7	1	3
血栓回収術	44	59	57
その他(血管内手術)	5	6	3
合 計	475	499	481

診療部長よりひとこと

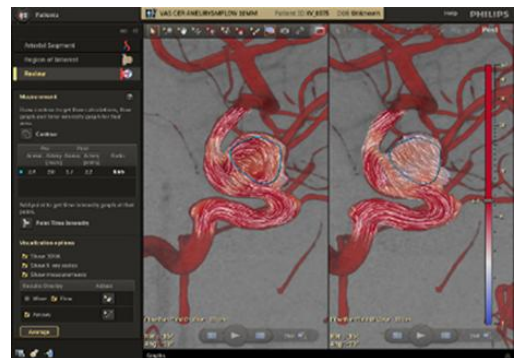
日頃より多くの患者のご紹介をいただき、感謝申し上げます。当科は昭和42年に開設されましたが、以降道北地方における脳疾患治療の拠点病院として機能しています。従来より開頭手術においては日本有数の症例数と治療成績を治めていて、全国的にも認知されておりますが、2020年度より血管内治療チームも充実したものととなり、あらゆる困難例に対応可能な体制が整っています。患者のみならず、ご紹介いただいた連携病院の先生にも満足いただける医療を提供できると自負しておりますので、動脈瘤等の血管障害のみならず、頭蓋底を含む脳腫瘍、三叉神経痛・顔面けいれんといった機能疾患まで、引き続きご紹介をいただけましたらと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



《手術の様子》



《血管内治療の様子》



《外視鏡手術の様子》



《脳外科スタッフ》

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

旭川赤十字病院は救命救急センターを併設しており、2次・3次救急を担うとともに道北ドクターヘリ基地病院としての役目もあり、旭川近郊のみならず道北一円から急性期の患者を受け入れております。当科でも救急要請は基本的に受け入れていますが、再接着を要する指切断、血管吻合を必要とする開放骨折は対応できないため、旭川医科大学や徳洲会病院にお願いしています。また四肢麻痺を伴う脊髄損傷も北海道中央病院脊損センターにお願いしています。

外来は平日の午前中のみで、紹介状のない新患の方は近くの医療機関を案内しています。専門外来は特にありません。骨軟部腫瘍は専門性が高く、症例集積のためにも大学にお願いしています。

毎日手術を行い、年間手術件数は800例前後です。約半数が臨時手術で、特に多いのが高齢者の大腿骨近位部骨折です。地域医療連携パスを用いており、可能な限り即日手術、翌日リハビリ開始として2週間前後で連携先に転院をお願いしています。

上下肢の外傷は、前述の特殊症例以外ほぼ全てに対応できます。多発・多臓器損傷であることもよくありますが当院では各専門科の協力体制により集中治療が出来ます。そのほかMSWや栄養課など様々な職種のサポートでより良い医療を目指しています。脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療しています。慢性疾患ではおもに膝の靱帯再建や人工関節手術を行っています。

医師名	専門分野/認定・専門等
さとう ごう 佐藤 剛 医 師	専門分野： 足の外科、スポーツ整形 外科、膝関節外科 日本整形外科学会認定専門医 医学博士 日本スポーツ協会公認スポーツ医
つむら じゅんいち 津村 諄一 医 師	専門分野： 整形外科、脊椎外科 整形外科専門医
みた たかひろ 見田 貴弘 医 師	専門分野： 整形
かも ゆうき 加茂 裕樹 医 師	専門分野： 脊椎脊髄病 日本整形外科学会専門医(機構専門医) 日本脊椎脊髄病学会認定医 脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄外科専門医

対象疾患

- * 上下肢の外傷多発・多臓器損傷脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療
- * 両膝の靱帯再建や人工関節手術

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たかはし しげる 高橋 滋 部 長	専門分野： 膝関節外科 日本整形外科学会スポーツ医 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医
たなか まさひと 田中 雅仁 副部長	専門分野： 整形外科、関節外科、四肢 外傷、骨盤外傷 日本整形外科学会専門医 JABO/OTC Japan 世話人 日本整形外傷学会 評議員 北海道整形外科外傷研究会 評議員

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
高橋	見田	津村	高橋	津村
佐藤	田中	佐藤	見田	田中
	加茂	加茂		

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	952
外来延数	11,679
新入院数	1088

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
創傷処理	106
小児創傷処理	1
皮膚切開	5
デブリードマン	16
分層植皮術	5
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	1
筋膜切開術	1
腱鞘切開術	15
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	3
腱剥離術	2
腱縫合術	8
アキレス腱断裂手術	7
腱移行術	2
骨搔爬術	1
骨折非観血的整復術	132
骨折経皮的鋼線刺入固定術	50
骨折観血の手術	492
観血的整復固定術	16
一時的創外固定骨折治療術	18
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	9
超音波骨折治療法（一連につき）	20
骨内異物（挿入物）除去術	128
骨部分切除術	4
骨腫瘍切除術（下腿）	1
骨切り術	7
偽関節手術	3
変形治癒骨折矯正手術（手）	1
骨長調整手術（骨短縮術）	1
骨移植術	31
関節脱臼非観血的整復術	40
関節脱臼観血的整復術	3
関節内異物（挿入物を含む）除去術	6
関節鏡下関節滑膜切除術	7

項目	件数
関節鏡下滑液膜摘出術	3
関節鏡下関節鼠摘出手術	1
関節鏡下半月板切除術	11
関節内骨折観血の手術	69
関節鏡下関節内骨折観血の手術	3
靱帯断裂縫合術	7
観血の関節固定術	3
靱帯断裂形成手術	2
関節鏡下靱帯断裂形成手術	2
関節形成手術	3
人工骨頭挿入術（股）	82
人工関節置換術	40
四肢切断術	17
断端形成術（軟部形成のみ）	3
断端形成術（骨形成を要す）	6
手根管開放手術	28
寛骨臼骨折観血の手術	2
骨盤骨折観血の手術	1
脊椎骨（軟骨）組織採取術（棘突起）	1
脊椎内異物（挿入物）除去術	9
椎間板摘出術	13
椎間板内酵素注入療法	3
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術	88
経皮的椎体形成術	10
内視鏡下椎弓形成術	1
神経縫合術	4
神経剥離術	2
脊髓腫瘍摘出術	1
神経腫切除術	1
神経移行術	5
神経移植術	1
血管縫合術	1
合計	1565

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

形成外科とは身体の組織の異常や変形、欠損、整容的な不満足に対して、様々な手法や特殊技術を駆使し、機能と形態をより正常により美しくすることで“Quality of Life”を向上させる、外科専門領域です。当科では日帰りで可能な局所麻酔手術から入院が必要な全身麻酔手術まで対応しております。

北海道道北地域では形成外科のある病院が少なく
他市町村からも多くの患者様をご紹介いただいております。

主な対象疾患

- 外傷（擦り傷、切り傷、皮膚欠損など）
- 熱傷・凍傷・化学損傷（薬品や化学物質などによる損傷）
- 顔面の骨折・変形
- 眼瞼（まぶた）の治療（眼瞼下垂、睫毛内反症・外反症）
- 先天疾患（手足、耳、へそ、まぶたなど）
- 皮膚・皮下組織を中心とした良性・悪性腫瘍
- 腫瘍切除後の組織再建
- 乳房再建
- 瘢痕（きずあと）、ケロイド、瘢痕拘縮（ひきつれ）
- 褥瘡（とこずれ）、難治性皮膚潰瘍
- その他（リンパ浮腫、腋臭症・多汗症）

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たんだい いさお 丹代 功 部 長	専門分野： 顔面骨折・軟部組織損傷、 新鮮外傷、熱傷、手足の先天奇形、その他 の先天奇形、褥瘡、難治性潰瘍、皮膚・軟部 腫瘍、悪性腫瘍と再建、眼周囲の形態異常 （眼瞼下垂、内反、外反症など）瘢痕、瘢痕 拘縮、ケロイド 日本形成外科学会認定専門医・領域指導医 日本熱傷学会認定熱傷専門医・評議員 皮膚腫瘍外科分野指導医 日本創傷外科学会専門医 ICD（インфекション コントロールドク ター） 乳房再建用エキスパンダー・インプラント責 任医師

医師名	専門分野/認定・専門等
なかぎり りょうこ 中桐 僚子 副部長	専門分野： 形成外科（一般形成、乳房再建） 医学博士 日本形成外科学会専門医・指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本熱傷学会専門医 乳房再建用エキスパンダー・インプラント責 任医師
むらかみ しんご 村上 真吾 医 師	専門分野： 形成外科
たなか 田中 あかね 医 師	専門分野： 形成外科

診療予定表

初診（8：00～11：00）

月	火	水	木	金
丹代	田中	中桐	村上	丹代
中桐		村上		田中

診療実績（2024年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	740
外来延数	5,494
新入院数	314

主な手術実績（2024年1月～12月）

	2024年	2023年	2022年
I. 外傷（熱傷・凍傷・電撃傷含む）	242	223	164
II. 先天異常	10	18	9
III. 腫瘍（母斑、血管腫等含む）	366	407	428
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	31	35	25
V. 難治性潰瘍（褥瘡、壊死等含む）	163	164	130
VI. 炎症・変性疾患（眼瞼内反含む）	68	135	163
VII. 美容	0	0	0
VIII. その他 眼瞼下垂（外傷・先天性・ 腫瘍が原因以外）	88	138	146
Extra レーザー治療	44	32	73
合計	1,012	1,152	1,138

施設認定・施設基準

- ◆日本形成外科学会認定施設
- ◆熱傷専門医認定研修施設
- ◆自家培養表皮ジェイス（再生医療）実施施設
（重症広範囲熱傷症例を対象）
- ◆日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会
エキスパンダー実施施設（一次・二次再建）
- ◆日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会
インプラント実施施設（一次・二次再建）
- ◆エピフィックス（EpiFix）
（ヒト羊使用組織治癒促進用材料）使用可能施設

診療部長よりひとこと

診療では旭川市内の他、道北地方一帯から患者様を御紹介していただいております。

当院は道北ドクターヘリの拠点病院であり、救急救命センターも併設しており外傷患者の受け入れも多くあります。当科は傷や傷跡を治すプロフェッショナルであり、救急医療では創傷治癒センター・創傷ケアセンターとしての役割が大きいと感じています。

その他近年、美容医療への関心が高まり、シミ・シワやアンチエイジングに悩んでいる方が少なくありません。私達は正しい医学情報を提供しつつ、ニーズに答えるためレーザーの導入やドクターズコスメ（医療的化粧品）を導入しております。当科の保険外治療は比較的施術を受けやすい医療費を設定し、好評を得ております。

また当院は臨床研修病院でもあり、多くの研修医が当科研修中に創傷治療や縫合技術などを習得しています。研修中に少しでも医師として成長できるような診療科を目指しております。

眼瞼下垂症・内反症治療の紹介

眼瞼下垂症はまぶたが下がって見えにくくなる病気です。当科では眼瞼下垂症に対して病態に応じた術式で手術を行っております。

先天性のものやコンタクトレンズなどが原因のものが多いですが、特に加齢性変化によるものが多く、老化とあきらかになっている患者様もいます。多くの患者様に眼瞼下垂症は手術で改善するということを知っていただくためにポスターも作成しております。

また、眼瞼疾患として眼瞼内反症も多く、その修正手術も行っております。内反症により睫毛が眼球に当たるため、定期的に抜毛をされている患者様も多く、手術で改善するため喜んでいただけることが多いです。

眼瞼下垂症

視界が狭くないですか？

眼瞼下垂症はうわまぶたが下がって開けにくくなる病気です。加齢、コンタクトレンズの長期使用、先天性のものなど原因はさまざまです。眼瞼下垂症のために肩こりや頭痛が起こることもあります。



眼瞼下垂症は手術で改善します。(保険適用)
気になっている方はご相談ください。

旭川赤十字病院 形成外科
(0166)22-8111

乳房再健の紹介

乳癌などで乳房切除の手術をされた方に対して乳房再建手術を行っています。再建方法は、人工物再建と自家組織再建のどちらも可能です。自家組織再建では遊離皮弁による再建も行っており、患者様のご希望にあった手術を行うことができます。

当院では病状によっては、外科の切除時に同時に再建手術をする一次再建も可能です。



乳房インプラント

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

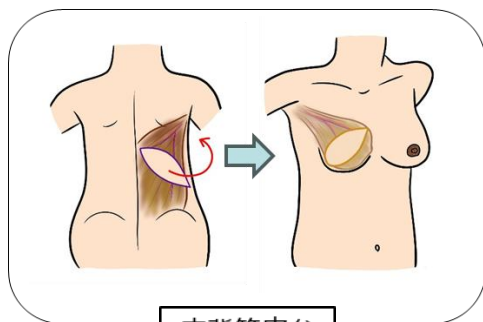
皮膚科

眼科

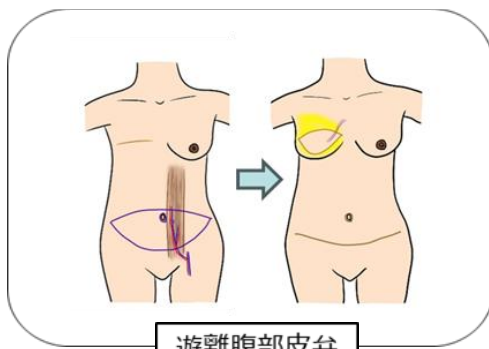
産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

広背筋皮弁



遊離腹部皮弁

レーザー治療の紹介

◆ Qスイッチ・ルビーレーザー

- ・シミ・アザに効果的。正常の組織へのダメージを抑えながらメラニン色素を破壊する機器です。
- ・治療後も洗顔、お化粧は可能です。



◆ 炭酸ガスレーザー

- ・隆起型のほくろやイボの治療に効果的です。
- ・熱で瞬間的に蒸散し皮膚を削り腫瘍を除去する機器です。



ドクターズコスメの紹介

(医療機関のみで販売可能)

◆ NAVISION DR (ナビジョン ディーアル)

- ・資生堂と岩城製薬が医療機関向けに開発したスキンケアブランドです。
- ・老若男女問わず、デリケートな肌にも安心してお使いいただけるシリーズです。
- ・当院スタッフも愛用しています。

<シリーズの紹介>

- ・美白有効成分配合の化粧水
- ・抗酸化成分を配合した乳液
- ・肌の透明感・シワ面積改善マルチクリーム
- ・高いUV機能を持った日焼け止め
- ・スキンケア成分配合のファンデーション
- ・女性でも使用可能な育毛剤
- ・まぶたのしわやくすみ対策のアイケアセット



診療科の概要

当科は成人の心臓大血管疾患・末梢動静疾患の診療にあ
たっています。救命救急センターを標榜する病院の心臓
血管外科であるため、急性大動脈解離、急性冠疾患、大
動脈破裂、急性上肢・下肢動脈閉塞などは緊急手術を行
います。2025年4月より診療体制が変わり医師の交代も
ありましたが医療の質を保てるように、安心・安全に重
きを置いて全力で取り組んでいます。どの疾患において
も、患者さん個人個人に合った治療方法を選択し、ステ
ントグラフトやカテーテル治療などの低侵襲治療も積極
的に取り入れていきたいと考えています。一方で大きな手
術をしなくてはいけない場合も、可能な限り安全な手
法で行います。

対象疾患

成人心疾患：虚血性心疾患、弁膜症、肺動脈血栓症

成人大血管：急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、
腹部大動脈瘤

抹消血管：抹消動脈疾患、静脈瘤などの静脈疾患、
静脈血栓症

そ の 他：不整脈手術

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
つつい まさひろ 筒井 真博 部 長	外科専門医 心臓血管外科専門医 日本血管外科学会評議員 循環器専門医 脈管専門医 胸部大動脈ステントグラフト指導医 服部大動脈ステントグラフト指導医 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準 による実施医
いしどう こうへい 石堂 耕平 医 師	専門分野： 心臓・大血管分野 外科専門医
しみず かなめ 清水 要 医 師	専門分野： 心臓外科 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会

診療時間

(初診8:00~11:30)

月	火	水	木	金
休 診	筒井	休診	石堂	清水

診療部長よりひとこと

医療の進歩とともに心臓血管外科手術の成績は向上して
おり、昔ほどの心臓の手術は命懸けという面は少なくなった
と思いますが、やはりそれでもイメージ通り人生の大きなイ
ベントとなります。そのようなイベントを安心して乗り越えら
れるように私達が安全に治療を行わせて頂きます。
本年度より診療体制の変更により診療を担当する医師が大
きく入れ替わりましたが、いずれもしっかり修練された経験豊
富な医師ですのでご安心ください。全力で治療にあたらせて
頂きます。

診療実績 2024年（1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	234
外来延数	3,595
新入院数	288

手術実績 2024年（1月～12月）

項目	件数
ステントグラフト挿入術	
ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	41
ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）	17
ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）	8
ステントグラフト内挿術（シャント）	2
大動脈瘤手術・開心術	
大動脈瘤切除術（上行大動脈・腹部大動脈他）	7
冠動脈バイパス移植術	2
弁置換術	2
心膜切開術	2
開胸心臓マッサージ	1

糖 尿 病・
内分泌内科

呼 吸 器
内 科

消 化 器
内 科

循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科

脳 神 経
内 科

総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科

脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科

麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

手術実績 2024年（1月～12月）

項目	件数
血管手術	
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	141
四肢の血管拡張術	72
内シャント血栓除去術	45
動脈塞栓除去術（その他）（観血的）	13
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）	13
血管移植術（その他の動脈）	11
バイパス移植術	10
動脈形成術	9
下肢静脈瘤手術（硬化療法）	9
下大静脈フィルター留置術	8
下大静脈フィルター除去術	7
下肢静脈瘤血管内焼灼術	6
動脈血栓内膜摘出術（その他）	4
血管結紮術（その他）	4
上腕動脈表在化法	4
腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡張術）	3
血管塞栓術	2
経皮的血管内異物除去術	2
経皮的下肢動脈形成術	1
その他	
大動脈バルーンパンピング法	10
創傷処理	8
人工心肺（初日）	6
経皮的心肺補助法（2日目以降）	4
体外ペースメーカー術	1
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1
合計	475



写真左より、清水医師、筒井医師、石堂医師

診療科の概要と対象疾患

泌尿器科では、泌尿器癌、前立腺肥大症や過活動膀胱といった排尿障害、腎結石、尿管結石、膀胱結石といった尿路結石、尿路性器感染症などを扱っています。

・泌尿器癌には膀胱癌、前立腺癌、腎盂・尿管癌、腎癌、精巣腫瘍、陰茎癌などがあり、それぞれの疾患について診断から治療まで、各種ガイドラインに基づいた標準的治療を行うことを心がけています。前立腺癌に対する前立腺全摘除術、腎癌に対する腎部分切除術、腎盂・尿管癌に対する腎尿管全摘除術、膀胱癌に対する膀胱全摘除術は、ダヴィンチを用いたロボット支援手術で行っています。腎癌に対する腎摘除術は主に腹腔鏡手術で行っています。

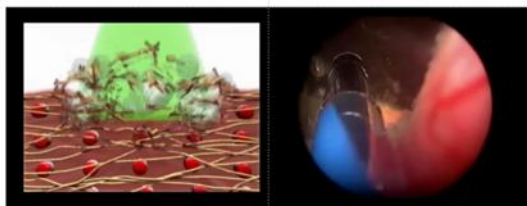
・膀胱全摘除術で尿路変更を行った方には、皮膚・排泄ケア認定看護師と協力してストーマケアをサポートしています。

・転移がある腎癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌に対しては、抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療を行っています。

・リスクの高い前立腺癌に対しては、新規のホルモン治療薬や抗癌剤による治療を行なっています。

・前立腺肥大症に対しては、低侵襲で合併症の少ない治療法である「経尿道的光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)」と「経尿道的水蒸気治療(WAVE)」を行っています。高齢の方や手術リスクの高い合併症をお持ちの方も治療することができ、その治療効果は従来の経尿道的前立腺切除術と遜色ありません。

グリーンライトレーザを用いたPVPでは、特殊な波長の高出力レーザを用います。このレーザは特に赤い色に吸収されやすい性質を持つため、血流の豊富な前立腺組織を効率的に蒸散させる(気化させて除去する)ことができます。



・尿路結石に対しては、レーザーと軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的手術や、経皮的手術と経尿道的手術を同時に行う手術で、最終的に結石をゼロにすることを目標に治療しています。

・尿路性器感染症は、外来で治療する膀胱炎や入院治療の必要な急性腎盂腎炎、急性前立腺炎などに対して、血液培養や尿培養による起因菌の同定と適切な抗菌薬使用を心がけています。

WAVE治療の流れ



©2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are property of their respective owners.

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ほった ひろし 堀田 裕 院長補佐 部長 感染症科 部長	専門分野: 泌尿器感染症、泌尿器癌 医学博士 日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 インфекションコントロールドクター (ICD) 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本感染症学会認定感染症指導医 日本泌尿器内視鏡・ ロボティクス学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医
みやもと しんたろう 宮本 慎太郎 部長	専門分野: 泌尿器科全般・腹腔鏡・ロボット支援手術 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 da Vinci Surgical System Certificate ドクター (泌尿器科ロボット支援手術) 泌尿器ロボット支援手術ブロック認定医 (手術指導医)
のふじ せいすけ 野藤 誓亮 医師	専門分野: 泌尿器科一般 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会技術認定医 da Vinci Surgical System Certificate ドクター
よしだ たかし 吉田 敬 医師	専門分野: 泌尿器科一般 泌尿器科学会専門医

診療予定表

(午前8:00~11:00)

	月	火	水	木	金
午前	堀田	宮本	堀田	宮本	野藤
午後	入院患者診療	手術	手術	入院患者診療	手術

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	601
外来延数	8,152
新入院数	798

診療部長よりひとこと

泌尿器癌に対するロボット支援手術、前立腺肥大症に対するレーザー治療など、より低侵襲の治療法を行うことで、入院期間を短くして退院後も入院前と同じ生活が送れるようになってきました。治療後の通院をかかりつけ医にお願いすることで、病院と診療所の役割分担を進めています。

主な手術実績（2024年1～12月）

	2024年	2023年
副腎摘除術	1（うち腹腔鏡下手術1）	2（うち腹腔鏡下手術2）
根治的前立腺摘除術	21（うちロボット支援手術21）	29（うちロボット支援手術29）
根治的膀胱摘除術	14（うちロボット支援手術14）	11（うちロボット支援手術10）
根治的腎摘除術	18（うちロボット支援手術1、腹腔鏡下手術15）	22（うち腹腔鏡下手術20）
腎部分切除術	11（うちロボット支援手術11）	14（うちロボット支援手術13）
根治的腎尿管摘除術	19（うちロボット支援手術17、腹腔鏡下手術1）	17（うちロボット支援手術11、腹腔鏡下手術6）
経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）	110	129
経尿道的腎尿管碎石術（TUL）	107	90
経皮的腎碎石術（PNL）	1	-
経皮的経尿道的同時碎石術（ECIRS）	16	2
経尿道的膀胱碎石術	26	23
経尿道的前立腺切除術	3	7
経尿道的光選択的前立腺レーザー蒸散術	22	-
経尿道的前立腺水蒸気治療	4	7
経直腸的前立腺針生検	78	100
除睾術	8	11
経尿道的尿管ステント留置術	139	109
その他	136	109
合計	734	682

診療科の概要

- ◎ 聴力改善手術をおこなっています。
- ◎ 突発性難聴に対する音楽療法をおこなっております。
- ◎ めまいに対する集団リハビリ治療をおこなっています。
- ◎ 難治性の鼻中隔彎曲症に対する外鼻形成術をおこなっています。
- ◎ 経鼻内視鏡を利用した頭蓋底手術をおこなっています。
- ◎ 内視鏡補助下甲状腺手術をおこなっています。
- ◎ 顔面神経麻痺に対する急性期リハビリをおこなっています。
- ◎ 顔面神経麻痺後遺症に対する、ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法をおこなっています。
- ◎ 音声外科手術をおこなっています。
- ◎ 嚥下機能改善手術・誤嚥防止手術をおこなっています。

主な対象疾患

A. 耳・めまいの治療

- 1.内視鏡下耳科手術（TEES）
- 2.自己血清点耳液による鼓膜穿孔閉鎖法
- 3.突発性難聴に対する音楽療法
- 4.めまいに対する外来リハビリ治療
（慢性難治性めまい患者に対する外来集団リハビリ）

B. 鼻の治療

- 1.内視鏡下副鼻腔手術（ESS）
- 2.鼻閉改善手術・アレルギー手術
- 3.鼻手術に伴う術後の苦痛回避の工夫
- 4.脳神経外科と協力した経鼻内視鏡下頭蓋底手術

C. 頭頸部腫瘍

- 1.甲状腺腫瘍穿刺吸引細胞診
- 2.甲状腺悪性腫瘍手術
- 3.Facelift切開による耳下腺手術

D. 顔面神経麻痺

- 1.耳小骨連鎖を保存する顔面神経減荷術
- 2.顔面神経麻痺に対するリハビリテーション
- 3.ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法

E. 顔面外傷

- 1.吸収型プレートによる顔面骨整復術
- 2.内視鏡による眼窩吹き抜け骨折整復術

F. 音声改善手術

- 1.喉頭微細手術（ラリングマイクロサージャリー）
- 2.甲状軟骨形成術
- 3.けいれん性発声障害に対する手術治療

G. 嚥下障害に対する手術

- 1.嚥下機能改善手術
- 2.誤嚥防止手術

手術実績 2024年度

（2024年4月～2025年3月）

手術内訳	件数
耳科手術	
鼓室形成術	14
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	2
乳突削開術	11
鼓膜チューブ挿入術	34
顔面神経減荷術	2
先天性耳瘻管摘出術	7
鼓膜穿孔閉鎖術（一連につき）	5
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	223
鼻中隔矯正術	36
顎・顔面骨折整復術	14
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術	5
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術	1
口腔咽喉頭手術	
扁桃摘出術	110
アデノイド切除術	19
舌・口腔・咽頭良性腫瘍摘出術	2
咽頭良性腫瘍摘出術	1
甲状舌管嚢胞摘出術	2
喉頭微細手術	23
嚥下機能改善、誤嚥防止、音声機能改善手術	24
頭頸部手術	
頸部郭清術	12
顎下腺良性腫瘍摘出術	1
耳下腺良性腫瘍摘出術	11
甲状腺良性腫瘍摘出術	12
甲状腺悪性腫瘍摘出術	19
副甲状腺腺腫過形成手術	12
リンパ節生検	16
頸部嚢胞摘出術	3
異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭）	9
気管切開術	28
総計	658

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

医師紹介

(2025年4月現在)

医師名	専門分野/認定・専門等
かただ あきひろ 片田 彰博 院長補佐 部長	専門分野 ：聴力改善手術、遺伝性難聴、 鼻科手術、音声外科手術、 嚥下機能改善手術 博士（医学） 耳鼻咽喉科専門医 耳鼻咽喉科専門研修指導医 補聴器相談医 耳科手術暫定指導医 鼻科手術暫定指導医 気管食道科専門医 頭頸部がん専門医 頭頸部がん指導医 臨床遺伝専門医 嚥下相談医 音声言語認定医 臨床研修指導医 補聴器適合判定医師
ながみね まさよし 長峯 正泰 部長	専門分野 ：難聴・めまい、顔面神経麻痺治療 医学博士（旭川医科大学2000年） 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本めまい平衡医学会認定めまい相談医 日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺相談医 補聴器相談医 補聴器適合判定医 補聴器相談医
たかばやし こうすけ 高林 宏輔 副部長	専門分野 ：眼窩ふきぬけ骨折手術、内視 鏡下鼻科手術、内視鏡下拡大 副鼻腔手術、内視鏡下垂体 手術、顔面外傷手術、甲状腺 内視鏡手術 日本耳鼻咽喉科学会専門医 補聴器相談医 耳鼻咽喉科専門研修指導医 鼻科手術暫定指導医 Sigma Xi（米国科学研究名誉協会）正会員 札幌医科大学耳鼻科臨床准教授 札幌医科大学耳鼻科客員臨床医師
はちやなぎ しゅう 八柳 周 医師	専門分野 ：耳鼻咽喉科

診療予定表

(初診 午前8:00～11:00)

	月	火	水	木	金
新患	長峯	片田	休診	高林	長峯
再診1	片田	長峯	高林	片田	高林
再診2	高林	高林	片田・長峯	長峯	片田

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,080
外来延数	8,958
新入院数	614



診療科の概要

旭川市の基幹病院として、小児の救急を含む地域医療を担うとともに、日本小児科学会専門医3名の常勤医により小児のアレルギー疾患、成長障害、思春期発来異常を含めた内分泌疾患、肥満、糖尿病、発達障害、心理疾患、てんかんに対する医療を提供しています。

対象疾患

【食物アレルギー】

診断と除去食解除のための食物経口負荷試験を1年あたり100例以上実施しています。食物アレルギーでお困りの方や「とりあえずやめておく」と指導されている患者様は、ご相談ください。

【気管支喘息・長引く咳】

呼気一酸化窒素（FeNO）の測定、呼吸機能検査（スパイロ）、呼吸抵抗測定検査（モストグラフ）等による客観的な評価により、診断および治療効果の判定を行います。

【低身長・成長障害】

小児の成長障害や低身長の原因には多くの因子が関与しますが、その一つとして内分泌疾患があります。様々なホルモンや成長因子の異常による内分泌疾患を診療対象としています。乳幼児健診、学校健診、かかりつけ医からの紹介等で受診される場合には、母子手帳、幼稚園・保育園や学校の成長記録をご持参ください。

【思春期発来異常】 【その他の内分泌疾患】 【カルシウム・ビタミンD関連疾患】 【肥満、糖尿病、生活習慣病】

【発達障害】

小児神経科専門医が、発達の遅れ、自閉性スペクトラム障害、ADHD、学習障害などの発達の問題に対し、臨床心理士による各種発達知能検査を参考にしながら診断、治療を行っています。

【心理疾患】

登校しぶり、不登校など心理的な問題を抱えている子ども達に、子どものこころ相談医、子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医が臨床心理士とともに診療し、必要に応じて心理カウンセリングも実施しています。

【てんかん】

日本てんかん学会臨床専門医・指導医が、小児のけいれん性疾患やてんかんに対して、脳波や頭部画像検査などによる検査をもとに診断し、その子に適した治療法を提供しています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
もりた けいすけ 森田 啓介 部長	専門分野：小児科一般、小児感染症、小児アレルギー 医学博士 日本小児科学会専門医 日本小児科学会認定指導医
むかい とくお 向井 徳男 部長	専門分野：小児科一般、小児内分泌・代謝、成長障害、小児肥満 医学博士 日本小児学会専門医・指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医
すわ きよたか 諏訪 清隆 部長	専門分野：小児科一般、小児神経、小児てんかん、小児発達、小児心身症 医学博士 小児科専門医 認定小児科指導医 小児神経科専門医 日本てんかん学会臨床専門医 日本てんかん学会指導医 臨床遺伝専門医 日本小児精神神経学会認定医 子どもの心相談医 地域総合小児医療認定医 子どものこころ専門医 子どもとメディア認定インストラクター 日本小児科医会 子どもとメディア委員会委員 北海道小児科医会 常任理事 子どものための心理的応急処置一日研修修了

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	796
外来延数	4,004
新入院数	204

診療予定表

(受付：8:00～11:30 13:30～15:00)

	月	火	水	木	金
午前 (一般)	森 田	諏 訪	諏 訪	向 井	森 田
午前 (専門)	内分泌 (向井)	喘息・ アレルギー (森 田)	喘息・ アレルギー (森 田)	発達・心理 (諏 訪)	内分泌 (向 井)
			心臓(出張医)		
午後 (一般)	向 井	向 井	森 田	森 田	諏 訪
午後 (専門)	神 経 (諏訪)	喘息・ アレルギー (森 田)	発達・心理 (諏 訪)	内分泌 (向 井)	喘息・ アレルギー (森 田)

- * 一般外来は予約不要ですが、各専門外来、予防接種、乳児健診は
午後の受付時間は、13時30分～15時
- * 予防接種（一般外来担当医が診察）月曜日 9時～11時、
火曜日～金曜日 9時～11時、 13時30分～15時
- * 乳児健診 月曜日～金 13時30分～14時

診療部長よりひとこと

小児科医3名が協力して診療にあたっています。先にあげた対象疾患に加え、感染症や小児救急などにも対応いたしますのでお気軽にご相談ください。地域医療を支えている先生に信頼のおける十分な医療ができるように頑張ります。

診療科の概要

皮膚科は、昭和32年12月に皮膚泌尿器科として開設され昭和37年8月に独立、その後平成16年3月まで続きましたが、同年4月から平成22年9月まで閉鎖されておりました。しかしながら平成22年10月、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医が就任となり、診療が再開されました。平成23年6月から皮膚科専門医研修施設として機能しています。

市内の開業医療機関、旭川医科大学皮膚科と連携し、情報交換を行いながら質の高い医療提供に努めている他、市外医療機関からの診療依頼も積極的に受け入れています。

当科は、急性期医療を担う機関の一員としてその役割をにない、重症薬疹、皮膚軟部組織感染症（壊死性）、外傷、熱傷などを他科とも連携しながら対処しています。また、日本皮膚科学会から分子標的薬使用承認施設に認定されており、適応（下記）のある患者さんに必要に応じて導入を行なっています。さらに、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターのに認定を受けたスタッフが外来に揃っていますので、静脈・リンパ環流障害による皮膚疾患にも積極的に対応しています。

道北医療圏において、皮膚科重症患者への対応が可能な施設は限られています。当科スタッフはその使命を受けて、診療に取り組んでいます。

主な対象疾患

○全身症状（発熱、倦怠感、体重減少など）をともなう皮膚疾患：膠原病、血管炎、悪性リンパ腫感染症などが含まれます

○皮膚悪性・良性腫瘍：手術を主体に、炭酸ガスレーザーや外用薬なども使用した治療を行っています

○重症のアトピー性皮膚炎、乾癬、掌跖膿疱症、壊疽性膿皮症、慢性膿皮症：分子標的薬の導入・維持に加え、慢性膿皮症については手術療法も実施している

○慢性皮膚潰瘍：ASO、静脈性潰瘍、糖尿病性潰瘍など

○帯状疱疹：重症患者に対する入院治療、痛みの治療（神経ブロックを含めた麻酔科的な対応はしていません）、発症予防のためのワクチン接種（条件があるため、希望される皆様すべてが任意接種できるわけではありません）

治療方針

1. 患者個々の特性に合ったゴールを目指す
2. 患者個々の病態解明に努める
3. 根拠に基づいた治療を標準とする

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
きのうち もとし 木ノ内 基史	専門分野：皮膚科
院長補佐 部長	皮膚科専門医
りふあんひ 李 歡喜 医師	専門分野：皮膚科

診療予定表

初診（8:00～11:30）

月	火	水	木	金
木ノ内	木ノ内	李	木ノ内	木ノ内
李	李			(李)

*木曜日は手術のため、入院・外来の診察申込（紹介）はお控えください。（緊急時を除く）

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	619
外来延数	8,014
新入院数	112

主な手術実績

項目	件数
創傷処理	41
小児創傷処理	2
皮膚切開	92
デブリードマン	41
皮膚腫瘍摘出術（露出部）	30
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）	33
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	5
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	12
分層植皮術	17
全層植皮術	3
自家皮膚非培養細胞移植術	2
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	3
慢性膿皮症手術（単純）	1
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	2
爪甲除去術	1
陥入爪手術（簡単なもの）	1
足底異物摘出術	1
毛巣洞手術	1
合計	288

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

当科では眼科全般の診療を行っていますが、その中心は白内障などの手術で、手術の多くを入院診療で行っています。白内障手術は難症例を中心に行っています。水晶体脱臼、眼内レンズ脱臼に対する眼内レンズの強膜内固定も行っています。加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF薬硝子体注射治療は外来診療で行っています。当院の特徴は地域医療支援（急性期医療担当）と救命救急医療ですので、頭部・顔面外傷などの救命救急医療における眼科診療も重点のひとつです。眼科的救急疾患や全身疾患に関連する眼科診療にも即自対応しています。脳神経内科、脳神経外科、放射線科の協力のもと、神経眼科疾患の診療も行っています。なお、光線力学的治療、角膜移植手術・屈折矯正手術、多焦点眼内レンズ手術、コンタクトレンズの処方を行っています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
かたおか のぶや 片岡 信也 部長	専門分野： 糖尿病網膜症の診断・治療、 白内障手術、眼窩脂肪ヘルニア手術 日本眼科学会専門医
みやもと みほ 宮本 美帆 医師	専門分野： 白内障手術
おおた いさお 太田 勲男 医師	専門分野： 白内障手術、網膜硝子体 医学博士 日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 神経眼科上級相談医

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患者	375
外来延数	8,448
新入院数	279

主な手術実績

（2024年4月～2025年3月）

項目	件数
白内障	447
硝子体	3
網膜剥離	0
緑内障	0
その他	12
合計	462

診療予定表

（初診：午前8:00～11:00）

月	火	水	木	金
太田 ☆片岡 宮本	太田 片岡	※休診	太田 片岡 宮本	片岡

☆の医師は回診のため10：30以降不在となります。
※一般外来は休診

診療部長よりひとこと

道北地方の眼科拠点のひとつとして、その使命を果たすよう努力してまいります。何卒ご協力をお願い申し上げます。

診療科の概要

現在、嘱託医2名で外来診療のみ行っております。
対象は婦人科全般ですが、手術・入院症例には対応していません。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たまた けんいち 玉手 健一 医師	専門分野： 不妊症、婦人科悪性腫瘍手術、 化学療法、婦人科内視鏡手術、 産婦人科内分泌医療、産科全般 日本産科婦人科学会認定医 日本母体保護法指定医 医学博士 ベストドクターズ
よしだ としあき 吉田 俊明 医師	専門分野： 産婦人科

産後サポート・助産師外来

母乳外来 (要予約)	平日（14時～16時） 料金 1回 2,200円（税込） ＊処方薬必要時は別途 内容 乳房マッサージ、 乳腺炎疑い・授乳相談など
電話相談 (予約不要)	平日（13時30分～16時）無料 対象 産後1年まで
産後ケア 【日帰り型】 (要予約)	対象 産後1年未満の母子 内容 お母さんの体力回復支援、 授乳相談、育児相談など ＊詳細は病院ホームページ診療科 案内をご参照ください
産婦健診 (要予約)	＊希望時は外来へお電話にて ご相談をお願いします
更年期相談外来 (要予約)	平日（14時～16時） ＊詳細は病院ホームページ診療科 案内をご参照ください

診療予定表

問い合わせ先：産婦人科外来

22-8111 9:00～16:00

（午前8:00～11:00 月～木曜日13:30～15:00）

	月	火	水	木	金
午前	玉手	玉手	玉手	玉手	玉手
	吉田/出張医	吉田	吉田	吉田	
午後	担当医	担当医	担当医	担当医	

※金曜日は午後休診

※POP外来は予約制

POP外来（骨盤臓器脱）

毎週月～木曜日 14:00～16:00（自由診療・完全予約制）
 ・一般外来受診日には混合診療となるので受けられません。
 ・詳細は病院ホームページ、診療科案内をご参照ください。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療科の概要

当科は地元歯科医師会との役割分担を明確にし、基本的には一般歯科治療(むし歯や歯周病の治療、義歯の作製など)は治療が必要である入院患者のみとし、歯科ならび医科の診療所などからの紹介患者を中心に診療し、病診連携を強め、地域の歯科医療機関との共存共栄を目指しています。

診療内容は親知らずの抜歯をはじめ、顎変形症、顎顔面外傷、口腔の良性・悪性腫瘍、嚢胞、感染症、唾液腺疾患、顎関節疾患などの口腔外科的疾患を幅広く行っています。

2012年度からチーム医療の推進の一環として周術期の口腔機能管理が導入されました。当院でもSCU入室患者の口腔ケア、脳神経外科、外科、心臓血管外科の手術前の口腔ケア、化学療法を行っている患者の口腔ケアを行っております。

対象疾患

口腔腫瘍、顎変形症、顎顔面外傷、口腔粘膜疾患、埋伏智歯、炎症性疾患 など

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
おかだ ますひこ 岡田 益彦 部長	専門分野：口腔外科全般 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本口腔科学会認定医・指導医 臨床研修指導歯科医 日本口腔ケア学会3級認定 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
かわばた まこ 川端 麻瑚 医師	専門分野：口腔外科
こんどう ひなこ 紺藤 日南子 医師	専門分野：口腔外科、口腔内科
いまがわ ゆきこ 今川 裕季子 医師	専門分野：口腔外科
いけはた まさひろ 池畑 正宏 医師	日本口腔外科学会 指導医

診療予定表

(初診 8:00～11:00)

月	火	水	木	金
岡田・紺藤・川端・今川				

※木曜日、金曜日は手術のため入院患者さんの診察申込はお控え下さい。(緊急時を除く)

診療部長よりひとこと

歯科口腔外科部長の岡田益彦です。私は旭川赤十字病院には3度目の赴任で、今回は2013年4月より勤務し、私が働き始めてトータルで一番在籍期間が長い病院になりました。

初代部長の池畑先生、前部長の嶋津先生は口腔外科のオールラウンダーで、目標の先生です。

偉大な先生方の後を継ぎ、当科を今までと変わらず、またさらに発展できるように今後も努力していきたいと思っています。

連携医療機関の皆様にはいつも大変お世話になっており、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。



写真 歯科・口腔外科外来

診療実績(2024年1月～12月)

項目	患者数
外来新患数	2,823
外来延数	10,660
新入院数	335

手術実績(2024年1月～12月)

項目	患者数
外来手術件数	1,671
全身麻酔手術件数	272
主な手術実績	
上顎骨形成術	22
下顎骨形成術	39
顎骨骨折観血の手術	5
顎骨腫瘍摘出術	16
悪性腫瘍手術	15
再建術	2

写真 下顎前突症 術前

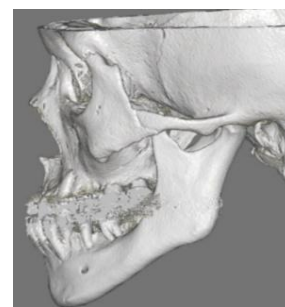
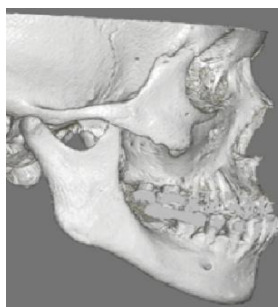


写真 上下顎骨形成 術後

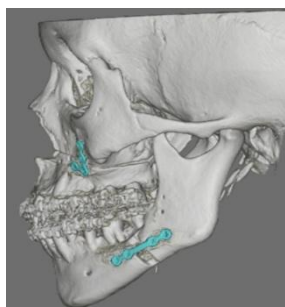
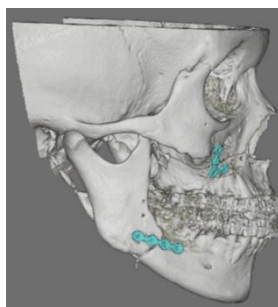


写真 進行した舌がん



舌の約1/2を切除



前腕皮弁で舌を再建

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

当科は、2006年4月に新規診療科として稼動し、発足より約18年が経過しました。スタッフは3名であり、院内外の放射線画像診断、IVRを中心とした業務を行っています。

画像診断業務はCT、MRIを中心としており、一部、核医学、超音波検査も含んでおります。IVRは各診療科の依頼により腹部を中心とした血管造影、止血手技、CT/USガイド下穿刺、CVポート留置等を行っています。

画像診断領域における診断機器の進歩は極めて早く、ほぼ数年ごとのサイクルで、最新機器が出現していますが当院では、X線CT装置2台（320列MDCT、64列dual energy CT）、MRI装置3台（1.5T、3T）、ガンマカメラ2台、血管造影装置2台、超音波検査装置4台、RIS、PACS、読影ビューワー等が完備しています。現時点で最先端の画像診断機器、読影環境が導入され、時代に先駆けた画像診断を行っています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ながさわ けんいち 長沢 研一 部長	専門分野 :IVR、画像診断 日本医学放射線学会専門医 日本IVR学会専門医 放射線取扱主任者一種 放射線学会研修指導者
たかだ ようこ 高田 陽子 副部長	専門分野 :放射線診断・IVR 放射線診断専門医 核医学専門医・PET核医学認定医 放射線学会研修指導者
ふじや あつし 藤谷 淳 医師	専門分野 :放射線診断・IVR

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
おばた まさひろ 小幡 雅彦 部長	専門分野：外科病理学、腫瘍病理学 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医 医学博士 日本専門医機構認定病理専門医 日本臨床細胞学会教育研修指導医 日本バイオインフォマティクス学会 認定バイオインフォマティクス技術者
きくち ともし 菊地 智樹 部長	専門分野：外科病理学 病理専門医研修指導医
ただ あきのり 多田 聡法 医師	専門分野：外科病理学

④ 報告日数および方法*注2

たいせつ安心医療ネットでの閲覧の場合：3日*注3
郵送の場合：5日

*いずれも、検体当院受領後（土日祝日除く）。
最終的には全て紙の報告書を発送し、新規にカルテ作成された患者様には診察券を発行致します。

⑤ 費用

各医療機関は、各月分を当院へお支払いいただきます。
*注4

注意事項

1. 病理組織診断は凍結された組織ではできません（冬期間の発送にはご注意ください）提出された検体は原則返却致しません。検体はパラフィンブロックにて、当院で永久保存いたします。
2. 免疫染色、脱脂処理、脱灰処理が必要な場合には、上記報告日数よりも時間を要します。
3. たいせつ安心医療ネットの同意を得ている患者様に限ります。
4. 診断を実施する上で、H E 染色および特殊染色以外に各種染色・免疫染色などが必要となった場合は、追加料金（免疫染色病理組織標本作製料および加算）が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

旭川赤十字病院 病理診断科 0166-22-0102（直通）

病理組織診断 受託のご紹介

地域医療施設の先生方の病理組織診断（標本作製から病理組織診断まで）を、平成27年1月5日依頼分より当院病理診断科にて受託する運びとなりましたので、ご紹介させていただきます。

当科は病理専門医2名を常勤とし、迅速かつ質の高い診断を心掛けております。また【たいせつ安心医療ネット】に同意されている患者さまにとっては、郵送よりも早く結果の閲覧が可能というメリットもございます。ご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、現時点においては市内登録医限定とさせていただきます。また、患者さまからのセカンドオピニオン等の直接申し込み・持参は受け付けておりません。当院受診歴のない患者様に関しては、手続き上新規にカルテ発行の必要があるため、当院診察券を結果報告書と共に発送致します。あらかじめご了承ください。

① 診断病理医（病理専門医）

小幡 雅彦、菊地 智樹

② 受託対象

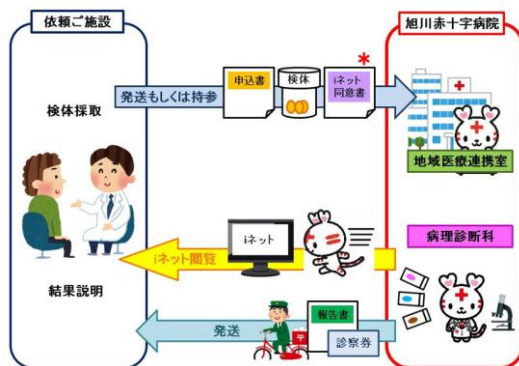
生検材料を主に受託致します（2015.01現在、市内登録医限定とさせていただきます）

* それ以外の手術材料につきましてはご相談下さい。

③ 提出方法

検体（10～20%ホルマリンに検体を入れた容器*注1）と病理組織診断申込書（ホームページよりダウンロード可能です）を、当院地域医療連携室へ発送ないし直接ご持参下さい。

【発送先】〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号
旭川赤十字病院 地域医療連携室



* ネット同意書は、ネット結果閲覧希望の場合、必要となります。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

医師紹介

麻酔科

医師名	専門分野/認定・専門等
あいもの まこ 四十物 摩呼 部 長	専門分野 ：臨床麻酔、救急集中治療 日本麻酔科学会専門医・指導医 麻酔科標榜医
とびせ ふみのり 飛世 史則 部 長	専門分野 ：臨床麻酔、救急・集中治療 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本集中医学会専門医
おおめま ゆきよ 大沼 幸代 医 師	日本麻酔科学会専門医 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医
なかじま ひさか 中島 弘貴 医 師	専門分野 ：臨床麻酔 麻酔科専門医
あさい まさたか 浅井 政貴 医 師	専門分野 ：手術麻酔 麻酔科標榜医 J-RACE2024
つの こうき 津野 考輝 医 師	専門分野 ：麻酔科 麻酔科標榜医
くわやま かれん 桑山 かれん 医 師	専門分野 ：麻酔科
さいとう たいすけ 齊藤 太亮 医 師	専門分野 ：麻酔科
おいかわ あたる 及川 中 医 師	専門分野 ：麻酔科

救急科

医師名	専門分野/認定・専門等
こばやし いわお 小林 巖 副院長 救命救急 センター長	専門分野 ：救急・集中治療 日本麻酔科学会指導医 日本救急医学会専門医 麻酔科標榜医 日本集中治療学会専門医 札幌医科大学医学博士 ICLSコースディレクター 日本DMAT隊員 FCCSインストラクター MCLSインストラクター 病院総合医 産業医
かわた たいすけ 川田 大輔 部 長 集中治療室責任者	専門分野 ：救急医学、集中医学、麻酔 日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学会専門医
なかむら あきひさ 中村 晃久 副部長	専門分野 ：消化器内科、肝臓内科 医学博士（北海道大学） 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 緩和ケア研修会修了
さいとう あつし 齋藤 敦 医 師	専門分野 ：消化器内科 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
いんぐ まさふみ 印鑰 雅史 医 師	専門分野 ：循環器内科
つちや りょうすけ 土屋 亮輔 医 師	専門分野 ：脳神経外科一般、頭部外傷 医学博士 日本脳卒中学会認定専門医 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本脳神経外傷学会専門医
なかじま ひさか 中島 弘貴 医 師	専門分野 ：臨床麻酔 麻酔科専門医
いしどう こうへい 石堂 耕平 医 師	専門分野 ：心臓・大血管分野 外科専門医
いのうえ たかし 井上 貴司 医 師	専門分野 ：脳神経内科全般

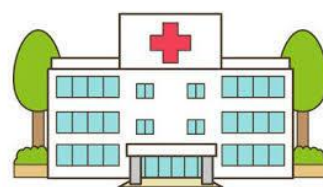
当院では、専任の医師によるホットラインを設置しております。
以下の場合にご利用ください。

医療機関様



- 救命救急ホットライン
- 脳卒中・脳疾患ホットライン
- 地域連携ホットライン
- 各診療科医師への電話

旭川赤十字病院



救命救急ホットライン 090-XXX-XXXX

通信障害時（予備機）090-XXX-XXXX

- 救命救急センター医が24時間対応いたします

脳卒中・脳疾患ホットライン 《24時間対応》

070-XXX-XXXX

- 脳卒中では迅速な初期対応が重要です
- 疑い症例も含め、迷った場合も躊躇せずご利用ください
- すべて断ることなく、対応させていただきます

地域連携ホットライン 080-XXX-XXXX

以下の場合にご利用ください。 《 対応時間 平日 8 : 30 ~ 17 : 00 》

- 救急ではないが、早く紹介したい
※救急を要する場合は救命救急ホットラインへお願いします
- どの診療科に紹介してよいかわからない
- その他（患者紹介のことで相談したい等）

- 各ホットラインは医師から医師への連絡を目的に設置しております。
電話番号を希望される医療機関の方は地域医療連携室まで

地域医療連携室では、ご紹介いただく患者様のFAX予約を実施しております。事前に診療情報提供書をいただくことにより、当日の待ち時間の短縮に努めております。

① 診療予約申込書に

必要事項をご記入ください。

※ホームページから
ダウンロードできます。



② 地域医療連携室まで

FAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も
併せてFAX願います。



③ 日時が決定したら、地域

医療連携室より「受診日
程のご連絡」をFAX送信
いたします。



④ 診療情報提供書の原本を

患者様にお渡しの上、受
診当日にご持参ください。



注意事項

1. お申込みいただいてから(FAX確認後)15分程度で診療日時をご連絡いたします。
2. 受付時間は平日8:30~16:30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承ください。
3. 診療科によっては、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡いたします。
4. 当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。
5. 受診日前日までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

旭川赤十字病院 予約申込時の注意事項

〈診療予約申込について〉

- 1.申込時は、**診療予約申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.**重要：呼吸器内科、血液・腫瘍内科**を予約する場合、**診療情報提供書も同時にFAX**してください。
- 4.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 5.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
 平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
 平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。
 金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。
- 6.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
- 7.**受診日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
 診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約申込について〉

- 1.申込時は、**共同利用申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 4.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
 平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
 平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。
 金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。
- 5.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
- 6.**検査日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
 診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。
- 7.**造影検査を希望の場合は**、申込時に**造影検査同意書(チェックリスト)**と**造影検査説明書**を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約時間一覧〉

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
CT・MRI		11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×
RI	骨シンチ	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×		11時頃注射 (14時頃撮影)	×	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×	
	腫瘍シンチ ガリウムシンチ	○ (注)		○ (注)		○ (注)		○ (注)		○ (注)	
	脳血流 スPECT	×		11:00～ 11:45	×	×		×		11:00～ 11:45	×
	DATスキャン	12時頃注射 (15時頃撮影)		×		12時頃注射 (15時頃撮影)		12時頃注射 (15時頃撮影)		×	
超音波 (腹部・甲状腺)		12:00頃		11:00頃		12:00頃		12:00頃		11:00頃	
脳波		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00	
肺機能検査		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00	
検査可能人数/日		4名		3名		4名		4名		3名	

- ・予約時間は当日の検査状況によって多少お待ちいただく場合がございます。
- ・詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。

(注)時間は要相談となります。

旭川赤十字病院 診療予約申込書（FAX専用）

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX：0166-22-8287（直通）

TEL：0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉 8：30～16：30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日～1月3日

5月1日（開院記念日）

申込年月日 年 月 日

紹介元

住 所： 〒

医療機関名：

主 治 医：

T E L：

F A X：

担 当 者：

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号（	-	）	・	なし	・	不明
フリガナ			男	生年月日	大・昭			
患者氏名	様		女		平・令			
住所	〒				電話番号	— —		
希望診療科			希望医師がいる場合		医師			
希望日時	第1希望	月	日	時頃	第2希望	月	日	時頃
							希望なし	
患者の状況	☐ 外来で返事を待っている ☐ 帰宅済み ☐ その他（ ）							

診療情報提供書

傷病名	
依頼目的	
既往歴及び 家族歴	
経 過	
現在の処方	

この用紙が診療情報提供書の原本となりますので、患者様に持参させてください。

2024.1

例

旭川赤十字病院 診療予約申込書（FAX専用）

〒070-8530

申込年月日 2024年 5月 10日

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX：0166-22-8287（直通）

TEL：0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉 8：30～16：30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日～1月3日

5月1日（開院記念日）

紹介元

住所：〒

医療機関名：

主治医：

TEL：

FAX：

担当者：

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号（ - ）	なし	不明
フリガナ	ニッセキ タロウ	男	大・昭	55年 5月 1日（41歳）
患者氏名	日赤 太郎	患者番号がわかる場合は番号と 患者氏名のみ記入で構いません。		
住所	〒070-8530 旭川市曙〇条〇丁目	〇-〇〇〇〇		
希望診療科	消化器内科	希望医師がいる場合	医師	
希望日時	第1希望 6月 1日 時頃	第2希望 6月 8日 時頃	希望なし	
患者の状況	☒ 外来で返事を待っている ☐ 帰宅済み ☐ その他			

診療情報提供書

傷病名	
依頼目的	
既往歴及び 家族歴	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。
経過	複数の診療科の予約申込をする場合は、科ごとに診療情報 提供書を作成・事前FAXをお願いします。
現在の処方	

この用紙が診療情報提供書の原本となりますので、患者様に持参させてください。

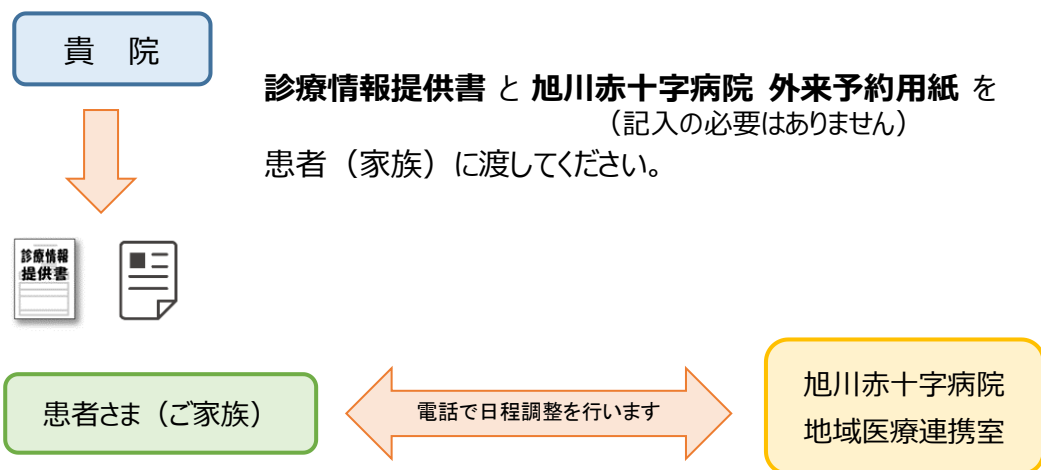
患者（家族）からの外来診療予約について

従来のFAXでの診療予約申込の他、患者さま（家族）から電話での予約が可能となりました。

《予約可能な診療科》（2024年1月現在）

●耳鼻咽喉科 ●形成外科 ●呼吸器外科 ●皮膚科

《患者（家族）による電話予約の流れ》



患者（家族）は

- ①外来予約用紙に必要事項を記入する。
- ②当院 地域医療連携室 専用ダイヤル 0166-76-9836 に電話をかける。
- ③地域医療連携室と日程調整を行い、外来受診を決定する。

* 診療情報提供書が手元に無い場合でも、電話予約を承りますが、
受診時に必ず診療情報提供書を持参させてください。

* 従来のFAXによる外来診療予約も可能です。

【問合せ先】
旭川赤十字病院 地域医療連携室
Tel 0166-22-8133(直通)

旭川赤十字病院 外来 予約用紙

《患者さんご自身（もしくはご家族）が当院に電話をして受診日の予約をする場合に使用》

* 当院の下記診療科あての紹介状（診療情報提供書）がお手元にある方（記載予定）が予約可能です。

《予約可能な診療科》

耳鼻咽喉科、形成外科、呼吸器外科、皮膚科

下記太枠の情報を記入のうえ、予約専用ダイヤル 0166-76-9836 に電話をかけてください。

◎受付時間 平日 9:00～16:00

旭川赤十字病院 受診歴		あり 患者番号（ - ） ・ なし ・ 不明						
紹介状（診療情報提供書）を書いていただいた医療機関名								
フリガナ 患者氏名	様 男 女			生年月日	大・昭 平・令	年	月	日（ 歳）
住所	〒				電話番号	-	-	

* 予約が決まりましたら、予約日と予約時間を記入してください。

外来受診日	月 日 () :
-------	-----------

《当日は来院時間までにお越しいただき、1階の受付カウンター

②外来受付（紹介状をお持ちの方）で受付をしてください。》

《当日持参していただくもの》

- ・この予約用紙
- ・**紹介状（診療情報提供書）**
- ・健康保険証
- ・お薬手帳（持っている方）
- ・各種認定書など

* 受診当日、紹介状（診療情報提供書）を持参
されなかった場合、選定療養費として8,800円(税込)を
お支払いいただく場合がございます。

旭川赤十字病院 地域医療連携室
電話 0166-76-9836 (外来予約専用)
FAX 0166-22-8287

*ご不明な点、予約日の変更希望等があれば、予約専用ダイヤルにてお受けいたします。

当院が所有する医療機器を地域の医療機関の先生方に活用していただくことを目的に、高度医療機器の共同利用を行っております。当院で検査のみを行い、検査結果と放射線科医の読影レポートを原則検査翌日に依頼元の医療機関へ発送しております。また、異常があり緊急対応が必要な場合、当院で処置し、依頼元へ直ちに結果報告を行っております。当院の高度医療機器を活用し、地域の先生方にお役立ていただければ幸いです。是非、この機会に共同利用をご活用ください。

注意事項

①

共同利用申込書に

必要事項をご記入ください。

※ホームページからダウンロードできます。

※造影剤を使用する検査をご希望の場合は

造影検査同意書(チェックリスト)・造影検査説明

書のご記入と併せてFAXをお願いいたします。



② 地域医療連携室まで

FAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も

併せてFAX願います。



③ 検査日時が決定したら、地

域医療連携室より「検査日
程のご連絡」をFAX送信い
たします。



④ 診療情報提供書の原本を

患者様にお渡しの上、検査
日当日にご持参ください。



1. お申込みいただいてから（FAX確認後）15分程度で検査日時をご連絡させていただきます。

2. 受付時間は平日8：30～16：30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承ください。

3. 検査内容によって、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡させていただきます。

4. 当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

5. 検査日前までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

6. 造影検査をご希望の場合は、申込時に造影検査説明書(チェックリスト)と造影検査説明書を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI（FAX専用）

〒070-8530

申込年月日 年 月 日

旭川市曙1条1丁目1番1号

紹介元

地域医療連携室 宛

FAX：0166-22-8287（直通）

TEL：0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉 8：30～16：30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日～1月3日

5月1日（開院記念日）

住 所： 〒

医療機関名：

主 治 医：

T E L：

F A X：

担 当 者：

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号（	-	）	・	なし	・	不明
フリガナ 患者氏名	様 男 女		生年月日	大・昭 平・令	年	月	日（	歳）
住所	〒			電話番号	— —			

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名			
依頼目的			
希望日時	第1希望 月 日 時頃	第2希望 月 日 時頃	希望なし

該当箇所にごつけてください。

放射線科医による読影レポートは必要ですか？		要 ・ 不要
造 影	無 ・ 有	1.造影検査の場合はMRI用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①～③のチェック願います。 ①腎機能障害 : 無 (BUN値: Cr値:) ・ 有 ②MRI造影剤過敏症 : 無 ・ 有 ③喘息 : 無 ・ 有
部 位	脳 頸椎 胸椎 腰椎 肝 腎・副腎 前立腺 その他 ()	
問 診	★下記の項目(①～⑩)について該当する項目がございましたら○をつけてください。 ①心臓ペースメーカー ②人工内耳や神経刺激装置 ③磁力で装着する義眼 ④カプセル内視鏡 または イレウス管 ⑤内視鏡でクリップをかけて1週間以内 ⑥体内埋め込み型 刺激装置 (迷走神経、仙骨神経、脊髄、脳深部) ⑦手術や検査等で体内に金属や精密機械を挿入または使用 人工弁・脳動脈瘤クリップ・V-P(L-P)シャント・ステント (種類:) ・ 人工関節 心臓大動脈ステントグラフト (3T禁) ・ 髄内釘・置き針・外傷による金属 (鉄片や銃弾など) 埋め込み型心臓モニター・持続血糖測定器・その他 () ⑧歯科用インプラント ⑨一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置 ⑩入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等)※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。	
注意事項	1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。 2.上記①～⑥で「有」の場合、MRI検査はできません。 3.上記⑦～⑩で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。 撮影不可とされた場合、予約は出来ません。	

例

旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI (FAX専用)

〒070-8530

申込年月日 年 月 日

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX: 0166-22-8287 (直通)

TEL: 0166-22-8133 (直通)

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日(開院記念日)

紹介元

住所: 〒

医療機関名:

主治医:

TEL:

FAX:

担当者:

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号 () ・ なし ・ 不明
フリガナ 患者氏名	様 男 女	大・昭 平・令
住所	〒	—

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のための記入で構いません。

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。		
依頼目的			
希望日時	第1希望 月 日 時頃	第2希望 月 日 時頃	希望なし

該当箇所にご記入ください。 受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちをご記入ください。

放射線科医による読影レポートは必要ですか?		要 ・ 不要
造影	無 ・ 有	1.造影検査の場合はMRI用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①~③のチェック願います。 ①腎機能障害: 無 (BUN値: Cr値:) ・ 有
部位	脳 頸椎	読影の要・不要、造影の無・有については必ず該当箇所にご記入ください。 ※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①~③のチェックをお願いいたします。
問診	★下記の項目() ①心臓ペースメーカー ②人工内耳や神経刺激装置 ③磁力で表着する義眼 ④カプセル内視鏡 ⑤体内埋め込み型医療機器 ⑦手術や検査等 ⑧人工関節 心臓大動脈ステントグラフト(3T禁)・髄内釘・置き針・外傷による金属(鉄片や銃弾など) 埋め込み型心臓モニター・持続血糖測定器・その他() ⑧歯科用インプラント ⑨一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置 ⑩入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等)※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。	
注意事項	1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。 2.上記①~⑥で「有」の場合、MRI検査はできません。 3.上記⑦~⑩で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。 撮影不可とされた場合、予約は出来ません。	

旭川赤十字病院 共同利用申込書（FAX専用）

CT・RI・超音波・生理機能検査

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

F A X : 0166-22-8287（直通）

T E L : 0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉 8：30～16：30

〈休 診 日〉 土 日 ・ 祝 日

12月29日～1月3日

5月1日（開院記念日）

申込年月日 年 月 日

紹介元

住 所： 〒

医療機関名：

主 治 医：

T E L：

F A X：

担 当 者：

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号（	-	）	・	なし	・	不明
フリガナ 患者氏名	様 男 女		生年月日	大・昭 平・令	年	月	日（	歳）
住所	〒			電話番号	— —			

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名								
依頼目的								
希望日時	第1希望	月	日	時頃	第2希望	月	日	時頃
					希望なし			

希望の検査項目・部位に○をつけてください。

放射線科医による読影対応の検査

放射線科医による読影レポートは必要ですか？	要 ・ 不要
-----------------------	--

検査項目	検査部位	
CT	頭部 頸部 胸部 胸腹部(胸～骨盤) 腹部(肝～骨盤) その他()	
	造 影	1.造影検査の場合はCT用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①～③のチェック願います。
	無 ・ 有	①腎機能障害 ： 無 (BUN値： Cr値：) ・ 有 ②CT造影剤、ヨード過敏症 ： 無 ・ 有 ③重篤な甲状腺疾患 ： 無 ・ 有
RI	骨シンチ(体重：) ガリウムシンチ(体重：) 甲状腺Tcシンチ	

検査結果のみ郵送となる検査

検査項目	検査部位	
RI	脳血流SPECT DATスキャン その他()	
超音波	頸部 腹部(部位：)	担当技師のレポートが同封されます。
生理機能検査	脳波 肺機能検査 生理機能検査	

例

 旭川赤十字病院 共同利用申込書（FAX専用）
CT・RI・超音波・生理機能検査

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX：0166-22-8287（直通）

TEL：0166-22-8133（直通）

〈受付時間〉8：30～16：30

〈休診日〉土日・祝日

12月29日～1月3日

5月1日（開院記念日）

申込年月日 年 月 日

紹介元

住所：〒

医療機関名：

主治医：

TEL：

FAX：

担当者：

 紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入をお願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号（	-	）	なし	不明
フリガナ 患者氏名	ニッセキ 日赤	知ウ 太郎	様	男 女	大・昭 平・令	年 月 日（ 歳）
住所	〒					-

 患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみ記入で構いません。

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。								
依頼目的									
希望日時	第1希望	月	日	時頃	第2希望	月	日	時頃	希望なし

希望の検査項目・部位に○をつけてください。

放射線科医による読影対応の検査

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちをご記入ください。

放射線科医による読影レポートは必要ですか？	☒ 要	・	☐ 不要
-----------------------	------------------------------------	---	--------------------------

検査項目	検査部位	
CT	頭部 頸部 胸部 胸腹部(胸～骨盤) 腹部(肝～骨盤) その他()	
	造 影	1.造影検査の場合はCT用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①～③のチェック願います。
	☒ 無 ・ ☐ 有	読影の要・不要、造影の無・有については 必ず該当箇所に○をつけてください。 ※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①～③のチェックをお願いいたします。
RI	骨シンチ()	

検査結果のみ郵送となる検査

検査項目	検査部位	
RI	脳血流SPECT DATスキャン その他()	
超音波	頸部 腹部(部位：)	担当技師のレポートが同封されます。
生理機能検査	脳波 肺機能検査 生理機能検査	

当院では、地域の医療機関の先生方にお役立ていただけるよう開放型病床を5床確保しております。ご利用を希望される場合は、地域医療連携室までご連絡いただきますようお願いいたします。

開放型病床の流れ

1. 開放ベッドの入院を希望される場合は、地域医療連携室までお電話にてご連絡ください。当日の担当医におつなぎいたします。
※受付時間は平日8時30分～17時00分まで
2. 患者さんは紹介状専用受付にて受付後、診察を行い診療科を決定し入院いたします。
3. 診療は当院医師と紹介元の先生と共同で行います。
4. 翌日以降の入院の継続もしくは、退院の決定についても当院医師と紹介元の先生と共同で行います。

- ① 地域医療連携室まで
ご連絡ください。



- ② 患者さんは当院で受付後
担当の診療科で診察を行
い入院いたします。



- ③ 入院後は当院医師と紹
介元の先生と共同で診
療を行います。



旭川市内の全ての公的病院が情報提供施設となり、地域内での情報の共有、救急医療での情報利用を目的とした地域医療ネットワークです。ネットワークに参加された医療機関では、情報提供施設における電子カルテ等の診療情報を、インターネットを介して閲覧することができます。

たいせつ安心i医療ネットをご利用いただくには、当ネットワークシステムへのご入会が必要となります。お申込みについては下記のたいせつ安心i医療ネット事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

旭川市医師会（たいせつ安心i医療ネット協議会事務局）

〒070-0029 旭川市金星町1丁目1番50号

TEL 0166-23-5728

FAX 0166-24-5444

E-mail : t-ansin-i-net@ahmic21.ne.jp



医療支援センターは入院前から退院支援に向けての対応をはじめ退院後の支援も一元的に実施すること、入退院を繰り返す患者様が、安心して在宅療養ができるサポート体制を作るために入退院支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーションの3つの部署から組織されています。

入退院支援室

入退院支援室は、患者様が安心して入院・治療し退院を迎えられるように支援するところです。患者様一人ひとりの身体的、精神的、社会的、経済的背景を理解し、入院前から退院後の生活を見据えて、療養移行や社会復帰を支援いたします。

入退院支援室では皆様が安心して治療に専念していただけるよう、保健師、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置しており、それぞれの専門性を生かし、院内外の関係者と連携いたします。

入院の予定がある方は、入院支援コーナーで、入院の目的、日常生活状況や入院までの経過を伺い、入院時に準備するものや入院生活についての説明をさせていただきます。

入院中は、担当の保健師、看護師や医療ソーシャルワーカーが主治医や関係多職種との情報共有を受けて、病棟やベッドサイドで、医療費に関すること退院後の医療や福祉サービスの利用、介護の継続事項などの相談をさせていただきます。

ご来院いただく場合は、窓口8番の医療支援センター患者相談窓口です。
がん相談支援センターの役割も担っております。お気軽にご相談ください。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 ⑧医療支援センター 患者相談窓口

(二条通り側 玄関横)

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-22-8287

入院支援コーナー (内線1147)

退院支援係 (内線1185)

相談支援係 (内線3120)

療養支援係 (内線3121)

地域医療連携室

地域医療連携室は、平成11年10月に医事課内に設置され、平成23年4月1日より「医療支援センター」の1部署となりました。入退院支援室、訪問看護ステーションは患者様やそのご家族と関わることが多いのに対し、地域医療連携室は地域の医療機関と関わる人が多い部署と言えます。

地域医療連携室では、地域の医療機関からの診療予約、CT・MRI等医療機器の共同利用、開放病床などの窓口を担っております。また、たいせつ安心 i 医療ネットの運用管理を行っており、旭川市内及び市外の医療機関とのIT医療情報連携も行っております。さらに、地域医療支援病院として、地域住民の皆さまを対象とした教育講座や地域の医療機関を対象とした研修会、講演会等を開催しております。

このように、地域医療連携室では当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関、福祉関連事業所のご担当者様と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献するべく、その対応窓口としての業務を行っております。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

⑧ 旭川赤十字病院 医療支援センター
(二条通り側 玄関横)

地域医療連携室

TEL : 0166-22-8111 (内線1188・1189)

FAX : 0166-22-8287

旭川赤十字訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、平成6年12月に、日本赤十字社北海道支部が、旭川赤十字病院の付帯事業として設置しました。

旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。症状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアを、24時間365日、在宅で療養生活が送れるように支援させていただいております。常に、医師や関係機関と連携をとり、在宅ケアの充実を図ります。

医療支援センターの一部署として、院内の情報交換がスムーズで、より迅速な対応ができます。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目旭川赤十字病院内
医療支援センター

旭川赤十字訪問看護ステーション

TEL 0166-22-7218 (直通)

FAX 0166-22-3375

メール houmonkango@asahikawa-rch.gr.jp



2024年7月1日より、旭川赤十字病院の【公式】InstagramとX（旧Twitter）を開設いたしました。地域の皆様に当院のことを広く知っていただきたく、赤十字活動、院内行事、お知らせ等を不定期に発信していきます。ぜひフォローしてください。

<Instagram> https://www.instagram.com/red_cross_asahikawa/
<X> https://x.com/asahikawa_rch

〒070-8530

北海道旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

【発行部署】 地域医療連携室

TEL（代表） 0166-22-8111

TEL（直通） 0166-22-8133

FAX（直通） 0166-22-8287

202508